

BEST OF

プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方

2014年版



プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方は、神々の祝福を受けた土地です。豊かで多様性に富んだ自然と遺産に溢れるこの地方に足を運んで、皆さまご自身で様々な見どころを発見してみてください。

プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方といえば**地中海**。太陽、香り、そして千年にも及ぶ文化のある地中海が様々な姿を見せてくれます。**カマルグ湿地帯**の手付かずの自然、**カランク**では、地中海の岩に挟まれた細長い入り江の絶景、**レランス諸島**、**ポール・クロ島**と**ポルクロル島**は自然の宝庫、コート・ダジュール地方ではモダンなビーチ・リゾート、そして各町の港があります。内陸部にも地中海文明が浸透し、多くの観光客を魅了しています。

プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方の魅力を余すところなく堪能していただくために、絶対に見て頂きたい場所の「BEST OF」をご紹介します。皆さまに見どころをお伝えしますので、ご自身のプロヴァンス・アルプ・コート・ダジュールのストーリーを作ってください。皆さまのお越しを、心よりお待ちしております。

旅の出発点として、まずはこの地方を象徴する都市をご紹介しますと思います。それぞれ個性的で特徴が異なるこれらの都市にきっとご満足いただけることでしょう。

マルセイユは、地中海のリズムが脈打つ都市です。活気に満ち、様々な色に溢れたフランス最古の都市です。旧港を出発して、昔ながらのマルセイユの雰囲気味わえるパニエ地区や美しい地形の**コルニッシュ**(切り立った崖の横を走る道路)を通して、中心地まで行けば、マルセイユの魅力を余すことなく感じとることができるでしょう。

エクス・アン・プロヴァンスは、マルセイユからそんなに遠くはありませんが、街の雰囲気は全く異なります。ルネサンス様式の個人邸宅の家並みがとても魅力的です。時間をかけて街を歩いてみましょう。エクス・アン・プロヴァンスに生まれ育ち、この土地にインスピレーションを得たセザンヌの足跡をたどってみてください。

アルルは、古代ギリシャ・ローマ時代にさかのぼる古い歴史のある街ですが、街としてではなくむしろ精神的なよりどころの場所、といえるでしょう。カマルグもすぐそばです。古代ローマ時代の遺産には目を見張るものがあります。「**プチット・ローマ**(小ローマ)」と呼ばれていたこの街は**ヴァン・ゴッホ**、**ピカソ**、そして**ゴーギャン**を魅了しました。今日では、世界の有名写真家が集まる国際写真祭の開催都市となっています。

アヴィニョンは、法王のおひざ元。プロヴァンスのゆったりした時間が流れます。その法王庁宮殿では、毎年有名なアヴィニョン演劇祭が開催されます。

サン・トロペは、夏にはジェット機で世界を飛び回る上流階級の人々が集いますが、シーズンオフには、木陰の広場、ペタンクに興じる人々、カフェテラス、細かい砂のビーチといった、静かな漁港の街です。

そのサン・トロペから数キロの場所には、**プロヴァンス・ワイン**のブドウが栽培されています。特に有名なロゼワインは、よく冷やしてブドウ畑の木陰で味わってみてください。そこから北に広がる**ヴォークリューズ**地域では、**コート・デュ・ローヌ**（赤ワインと白ワイン）、**シャトーヌフ・デュ・パプ**が有名です。ワイン蔵や造り手を訪れ、プロヴァンス・ワインのすばらしさを発見してください。魔法にかかったような美しい風景が見られます。

6月から8月はラベンダーの花が咲く季節。見渡す限り青紫色のラベンダー畑が広がる光景は、一生忘れられない思い出となるでしょう。**ヴォークリューズ**を通りさらに北へと進むと**アルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス**から**オート・ザルプ**にかけて、一面ラベンダー畑の景色を見ることができます。

ルシヨンのオークル採取場跡、**ゴールド村**のすばらしい遠景、また**ヴァントゥー山**は、訪れた人の心を虜にする場所です。プロヴァンスのこの辺りの地域は、ピーター・メイルの本によって知名度があがりました。

リュベロン地方自然公園は、訪れる人が自然を満喫できるように自然保護地区となっています。

ヴェルドン溪谷も保護区であり、地質学観点から世界的に有名な場所となっています。峡谷のターコイズ色をした水とその深さには驚くばかりです。峡谷まではハイキングやカヤックで出かけて、その魅力を存分に堪能してください。

プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方に足を運んで、いろいろな人に出会い、経験をシェアし、歴史、グルメ、文化、スポーツなど体験しに来てください。

目次

マルセイユ、地中海のリズム	5
エクス・アン・プロヴァンス、セザンヌの足跡を訪ねて	9
アルル、カマルグ湿原地帯とアルピーユ山脈の間に位置する街	12
アヴィニョン、法王の都市	16
サン・トロペ、波乱の歴史をくぐりぬけた街	19
プロヴァンスのワイン	22
見渡す限りのラベンダー	25
ヴァントウー山～リュベロン、ピュアなプロヴァンス	28
ヴェルドン峡谷、景色と感動	31

プロヴァンス・アルプ・コートダジュール地方 プレス・コンタクト：

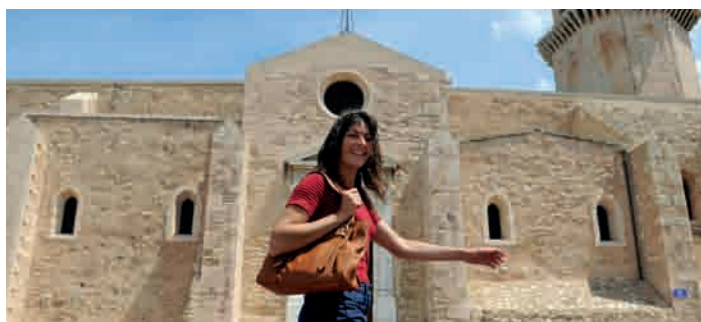
スザンヌ・ズルン＝セイラー Susanne Zürn-Seiller : s.zurn-seiller@crt-paca.fr - ☎ +33 (0)4 91 56 47 13

メロディー・レイノー Melody Raynaud : m.raynaud@crt-paca.fr - ☎ +33 (0)4 91 56 47 38

ラビア・ベナイサ Rabiha Benaïssa : r.benaïssa@crt-paca.fr - ☎ +33 (0)4 91 56 47 32

Copy-rights : C.Duranti, P.Leroux, CRT PACA.

マルセイユ、地中海のリズム



マルセイユ、それは「いつも騒々しいカヌヴィエール大通り、青い海が広がる港、たくさんの白い船、マストのロープが細い紐で編んだレースのようである」著名な作家であるコレットは、そう表現しました。

地中海の主要都市マルセイユは、国際色豊かな街でありながら、さまざまなコントラストが見て取れます。活気にあふれた中心地に、古めかしい魅力を持つ旧市街、どよめく自転車競技場、気持ちのよい砂のビーチ、再開発地区「ユーロメディテラネ(Euroméditerranée)」、プロヴァンス地方の田舎の別荘「パストレ(Pastré)」と、どこを訪れても驚きと発見の連続です。

フランス最古の都市マルセイユは、街の中心にある旧港で知られています。港に戻った漁師が、毎朝、その日に捕れた魚を売ろうと得意客に声をかけています。色とりどりの船に太陽、それが旧港の景色です。

バステイスは、プロヴァンスになくはないアニスのお酒。マルセル・パニョルの三部作の舞台となったマリヌ・バーで一緒に味わいましょう。フェリー乗り場には、旧港を横切り、対岸のパニエ地区の旧市街やマルセイユ市庁舎へ向かう小さな船が行き交います。街を歩いてゆくと、狭い路地やアパートの間にたなびく洗濯物、そして小さな広場といった19世紀の港町や下町の雰囲気十分に堪能できます。ヴィエイユ・シャリテという旧慈善院(musée de la Vieille Charité)にも足をのばしてみてください。バロック様式建築の代表作で、その丸天井の美しさには目を見張るものがあります。

さらに街を歩くと、それぞれの建築物にマルセイユの歴史が感じられます。古代ギリシャ・ローマ時代からの港、中世に建てられたサン・ヴィクトール修道院(abbaye de Saint-Victor)、ピエール・プジェ(Pierre Puget)が手がけたマルセイユの市庁舎、オスマン様式の美しいレピュブリック通り、完成当時はシテ・デュ・ファダ(間抜けな家 cité du Fada)と呼ばれたル・コルビュジェ(Le Corbusier)の手がけた集合住宅、そしてザハ・ハディッド(Zaha-Hadid)が設計した超高層ビルCMA CGMタワーなどが挙げられるでしょう。そして現在では、ルディ・リッチオッティ(Rudy Ricciotti)が設計した新しいランドマーク、**欧州地中海文明博物館(Le MUCEM)**があります。

ノートル・ダム・ド・ラ・ギャルド・バジリカ聖堂の聖母子像を見ずして、マルセイユを訪れたとはいえません。海拔160mの丘にたたずむこの聖母子像は、マルセイユの守護の聖母でもあります。丘から360°見渡すことのできる街の景色の美しさは、すばらしい一言に尽きます。フリウル島(Iles du Frioul)からさらに内陸に入ったガルラバンの丘(collines du Garlaban)まで見渡すことができます。この聖堂はローマ・ビサンチン帝国時代に建てられました。金色に輝く聖母子像は、市民

から「ラ・ボンヌ・メール(優しい聖母さま La bonne mère)」と呼ばれています。また聖堂の中には、願いが成就したカトリック信者が感謝の言葉を捧げたプレート(ex-voto)がたくさんあり、すばらしいモザイク画も飾られています。人種や宗教を超えてマルセイユ市民が、守護の聖母にお祈りを捧げにやってきました。地元のサッカーチーム、オリンピック・マルセイユ(OM)の勝利を聖母にお祈りする人もいます。

コルニッシュは必ず通っておきたい道です。街の中心地、ブラド・ビーチ、ポワント・ルージュ(Pointe-Rouge)地区を結ぶ道路です。更に進めば、手付かずの自然が残る、ターコイズ色の水をたたえるカラंकに着きます。地中海のクルージングを楽しみながら、イフ島を訪れるのも良いでしょう。その島にあるイフ城(château d'If)は、国王フランソワ1世支配の治世下に建てられ、アレクサンドル・デュマの小説、「モンテ・クリスト伯」によって有名になりました。

欧州文化首都2013年に選ばれたマルセイユには、新たな建築物や改装された建物が登場し、新たな顔を見せています。

- **新しくなった旧港**にある、ノーマン・フォスター(Norman Foster)が手掛けたオブジェ、**オンブリエール(Ombrière)**が見どころです。

- **欧州地中海文明博物館 Le MUCEM**
ルディ・リッチオッティ(Rudy Ricciotti)と
ロラン・カルタ(Roland Carta)が手掛けました。

www.mucem.org

- **ヴィラ・メディテラネ La Villa Méditerranée**
ステファノ・ボエリ(Stefano Boeri)による設計です。

www.villa-mediterranee.org

- **プロヴァンスの視点ミュージアム**
La Fondation Regards de Provence
マルセイユ・プロヴァンスの芸術文化遺産のためのミュージアムであり、フェルナン・プイヨン(Fernand Pouillon)が手掛け20世紀遺産に指定された旧保健センターにあります。

www.museeregardsdeprovence.com

- **プロヴァンス・アルプ・コート・ダジュール地方現代美術基金センター le FRAC PACA**
(Fonds Régional d'Art Contemporain, Provence-Alpes-Côte d'Azur)
建築家、隈研吾の設計事務所が手掛けました。

www.fracpaca.org

- **マルセイユ歴史博物館**
musée d'Histoire de Marseille

完全リニューアルした歴史博物館は、フランスやヨーロッパで最大の博物館の一つとなりました。ブルス地区(Le quartier de la Bourse)にあるこの博物館では、2600年以上の歴史を楽しむことができます。

- **美術館 Musée des Beaux Arts**
素晴らしいパレ・ロンシャン(Palais Longchamp)にある、マルセイユで最も歴史のある美術館がリニューアルしました。

- **Ex-votos の新ミュージアム**
musée des plus beaux Ex-votos
ノートル・ダム・ド・ラ・ギャルド・バジリカ聖堂(Notre-Dame-de-la-Garde)内にあります。

自然の中に息抜きに出かけましょう。モーターボートやマルセイユの小舟「ポワンチュ(pointu)」に乗って海や入り江、島で気晴らしをしませんか。ダイビング用品やシュノーケリング用品もあります。

www.visite-des-calanques.com

www.croisieres-marseille-calanques.com
<http://active-road.com>

最後は、マルセイユのグルメで締めくくりましょう。マルセイユの郷土料理、ブイヤベースは、地中海の新鮮な魚がふんだんに使われ、サフランによって味を引き立てられたスープです。

おすすめショッピング

豊かな伝統を誇るマルセイユには、数多くのおみやげがありどれを選ぶか困ってしまうほどです。

- **有名なマルセイユ石鹸**
良質な天然のオリーブオイルを原料とし、肌にとってもやさしい石鹸です。マルセイユ石鹸の専門店、**ル・セライル(Le Serail)**、又は**フェール・ア・シュヴァル(Fer à Cheval)**では、昔ながらの製造方法を見学でき、真正正銘のマルセイユ石鹸が購入できます。

www.les-savons-saintvictor.com

- **サントン人形**
人々をモデルにした粘土の人形で、プロヴァンス地方のクリスマス飾るクレスシュ(キリスト生誕像)には欠かせません。サントン人形作りの職人、マルセル・カルボネル(Marcel Carbonel)のアトリエでは、昔ながらのサントン作りの技法が見学可能で、18世紀から今日までのサントン人形のすばらしいコレクションを見ることが出来ます。

www.santonsmarcelcarbonel.com

- ナヴェット

オレンジの香りが漂うビスケット。マルセイユの伝統として、地元の人たちは聖母マリアの御潔めの祝日(2月2日)に、フル・デ・ナヴェット(Four des Navette)というパン屋で買います。ここはサン・ヴィクトール修道院の建つ丘に200年以上も続く、マルセイユで最も古いパン屋です。

www.fourdesnavettes.com

- パスティス

アペリティブとしてとても人気のあるアニス酒です。旧港にあるメゾン・デュ・パスティス(Maison du Pastis)では、多彩な香りや種類のパスティスがあり、太陽の下で、また木陰のテラスで、「アペロ(食前酒)」の文化を楽しみましょう。

www.lamaisondupastis.com

手帳にチェック

2014年2月21日~6月22日:ピカソ、マグリット、ウォーホル、顔の展覧会
Exposition Visages Picasso, Magritte, Warholがマルセイユの旧慈善院(centre de la Vieille Charité)にて開催されます。

人の顔を描いた90人以上のアーティストの作品が一堂に会する初の展覧会です。第2次産業革命、個人主義の進化や成熟によって社会に変化が起きました。人の顔とその時代の環境にはずれが生じています。人間の新たな地位、セルフイメージとの関係、他者の視点について様々な疑問を投げかける展覧会です。アンソール(Ensor)の仮面、ベーコン(Bacon)の歪んだ顔、マグリット(Magritte)の鏡、ジャコメッティ(Giacometti)の登場人物たちの運命への容赦ない歩みが、芸術的な側面から現代の疑問に答えてくれるかもしれません。並行して、地中海考古学博物館(musée d'archéologie méditerranéenne)で、古代文明、キクラデスの偶像、スピドス(Spedos)の偶像、新石器時代から端正な顔立ちをしたギリシア青年の小立像など、40作品を超える傑作を集めた展覧会が開催される予定です。

おすすめホテル&レストラン

NEW

インターコンチネンタル・マルセイユ ホテル・デュ・l'InterContinental Marseille - Hotel Dieu
(2013年4月開業)

最も古いパニエの丘にそびえたち、18世紀の荘厳な建造物(旧病院)の中に入っています。街に張り出しているため、旧港やノートル・ダム・ド・ラ・ギャルド・バジリカ聖堂の素

晴らしい眺めが楽しめます。歴史的建造物に指定され、素晴らしいロケーションを誇るこのホテルには、22室のスイートを含む、194室の部屋があります。ホテル内のレストランではリオネル・レヴィー(Lionel Levy)シェフによるグルメもお楽しみいただけます。

www.intercontinental.com/marseille

- ソフィテル・ヴィュー・ポール(5つ星)

Sofitel Vieux-Port 5*

旧港のすばらしい眺めとスパが楽しめます。またレストランではすばらしい食事が味わえます。

www.accordhotel.com

- マルセイユ・ニュー・ホテル(4つ星)

Le New Hôtel of Marseille 4*

おしゃれでデザインなホテルの洗練された部屋からは、ファロ会議場の庭と旧港の景色が広がり、日曜日には、地元の人たちがホテルの有名なランチを味わいに足を運びます。

www.new-hotel.com

- ラ・ヴィラ・マサリア(4つ星) La Villa Massalia 4*

海を見晴らし、プラド・ビーチとポワント・ルーージュ地区からもすぐ近く、9ホールのゴルフ場があります。スパ、ジャグジー、サウナ、ハママで癒しの時間をお過ごし下さい。

www.marseille.concorde-hotels.fr

- ル・プルマン・マルセイユ・パーム・ビーチ(4つ星)

Le Pullmann Marseille Palm Beach 4*

デザインでモダンなホテルにはプライベート・ビーチがあり、見渡す限りの地中海の風景が広がります。テラスで味わうカクテルには定評があります。

www.accorhotels.com

- ル・エムギャラリー ボーヴォ(4つ星)

Le MGallery Beauvau 4*

マルセイユを代表する高級ホテルの一つであり、豪華な施設はダウンタウンの素晴らしい立地に恵まれています。レイ・フィリップ・ブナボレオン三世時代の調度品によって装飾されたこのホテルは、伝統ある歴史の中で数々の著名人をもてなしてきました。1832年、アルフォンス・ド・ラマルティエヌ(Alphonse de Lamartine)が東洋に初めて旅立つ時、1839年、プロスペル・メリメ(Prosper Mérimée)がコルシカ島行きの船に乗船する時、このホテルを利用しました。1920年になってからは、ジャン・コクトー(Jean Cocteau)が投宿しました。

www.mgallery.com/Marseille

- ラ・レジデンス・デュ・ヴィュー・ポール(4つ星)

La Résidence du Vieux Port 4*

2008年~2010年、インテリア・デザイナーのフランク・ポティザック(Franz Potisek)が改装を指揮し、ニュールックとなりました。建築された1954年には、ル・コルビジェ(Le

Corbusier)と1950年代の優雅さが注目の的でした。ノートル・ダム・ド・ラ・ギャルド・バジリカ聖堂への素晴らしい眺望が自慢です。

www.hotel-residence-marseille.com

- ル・ニュー・ホテル・サン・シャルル(3つ星)

Le New Hotel Saint Charles 3*

60の部屋は最近改装されました。駅やダウンタウンに近いこのホテルには、中庭が隠れています。

www.new-hotel.com

- ル・ママ・シェルター Le Mama Shelter

旧市街にあり、クール・ジュリアン地区からもすぐです。フィリップ・スタルク(Philippe Starck)がデザインしたセカンドホテル、ル・ママ・シェルターは、2012年4月に開業しました。127室ある部屋に加えて、太陽や紺碧の色合いでまとめられた地中海らしいレストラン、最先端のDJバーがあります。パスティスパー、大きなテーブルサッカーとマルセイユ風のパティオが、まるで我が家にいるかのような気持ちにさせてくれます。

www.mamashelter.com/fr/marseille

- ル・ミラマール Le Miramar

ブイヤベースが味わえる有名なレストラン。毎月第3木曜日には、シェフと一緒に旧港の魚市場に買出しに行き、料理教室が開かれます。ブイヤベースの秘伝のレシピを是非どうぞ!

www.bouillabaisse.com

- レ・ザルスノー Les Arcenaux

こちらのレストランは本屋、アートギャラリー、ティールーム、ブティックを兼ねています。野菜のファルシー、紫のアーティーチョーク、バリグール(barigoule、マッシュルームを詰めた白ワインの蒸し煮)、ピエ・パケ(pieds paquets、羊の胃袋と足の白ワイン煮込み)といった上品なプロヴァンス料理を楽しむことができ、これらの料理に合うワインメニューも充実しています。

www.les-arcenaux.com

- ラ・ボット・ア・サルディーヌ La Boîte à sardines

かつて魚屋&牡蠣屋だったお店には、レストランとして食事ができる場所があり、毎日その日に取れる新鮮な魚を使った料理や貝類を提供しています。またからすみ、魚のスープ、漁獲年付のいわしの缶詰なども販売しています。

www.laboiteasardine.com

- ル・グラン・バー・デ・グード

Le Grand Bar des Goudes

グードの小さな港にあるレストラン。テラスからはすばらしい地中海の景色が広がります。カラंकのふもと、小さな港町の和気あいあいとした雰囲気の中で、南仏の伝統料理を味わってください。

www.grandbardesgoudes.com

- ル・マルタザール Le Malthazar

一年に二店が星を獲得した料理人ミシェル・ポルトスが経営しているお店です。マルセイユの食通たちをうならせています。

www.malthazar.fr

- ル・ペロン Le Péron

マルセイユ料理のこの店は、海側にせり出した場所にあり、海と街の水平線の眺望が自慢です。1940年代のクルージングの雰囲気の中で、洗練された魚料理を中心にいただきます。

www.restaurant-peron.com

- ル・ローイング・クラブ Le Rowing Club

港に面したテラス席が自慢のお店です。マルセイユ出身のシェフ、クリスチャン・エルン（Christian Ernst）が腕を振るい、ガストロノミーとビストロの間にある料理を出してくれます。

www.rowing-clubrestaurant.com

お勧めのアジア料理のお店

- ティエン・ツン・コティエ Tien Tsin Côtier

3 place Jules Verne - 13002 Marseille

☎ **+33 (0)4 91 90 47 96**

- ル・マンダラン Restaurant le Mandarin

5, Cours Jean Ballard - 13001 Marseille

☎ **+33 (0)4 91 33 13 54**

www.le-mandarin-marseille.fr

詳しくはこちらからどうぞ

www.prestigetourismepaca.fr

www.tourismepaca.fr

www.marseille-tourisme.com

エクス・アン・プロヴァンス、セザンヌの足跡を求めて



「まとまりのない大作よりも、全体の調和がより必要なこともある。なぜならその全体こそが、日々の人々の生活を表現しているからである。エクス・アン・プロヴァンスは全体を楽しむ街である」

フェルナン・プイヨン (Fernand Pouillon)

プロヴァンス地方の歴史的首都であるエクス・アン・プロヴァンスは、そのすばらしい建築物の街並みから18世紀には「ル・プチ・ヴェルサイユ (小ヴェルサイユ)」と呼ばれました。ローマ時代の遺跡から善良ルネ王の像、そしてミラボー大通りと、通りや場所の一つ一つに、エクス・アン・プロヴァンスが歩んできた歴史を感じ取ってください。

ロトンド広場(place de la Rotonde)のすばらしい大噴水から続く、ミラボー大通りの17～18世紀の館の家並みの美しさには、圧倒されるばかりです。ミラボー大通りで目を引く3つの噴水の中でも、34℃の温水が湧き出す一面苔に覆われた泉は大変有名です。またエスパネ邸宅(hôtel d'Espagne)のバルコニーを支えるがっしりとした大きな男像柱は、ピエール・ブジェによる彫刻作品です。「ドゥ・ギャルソン(Deux garçons)」のカフェでワインを飲みながら、通りを行く人々を眺めるのもいいですね。そして大通りの端にある噴水では、ブドウの房を手に抱えたルネ王の像が欢迎您的てくれます。

小さな抜け道、パッサージュ・アガール (passage Agard)を通して裁判所の広場に出ると、周囲はルネサンス様式の家々が並びます。ウインドーショッピングを楽しみながら小さな通りをしばらく歩くと、今度はバロック様式の壮大な市庁舎が見えます。その時計塔は市民の目印です。

市庁舎から少し行くと見えてくるのがサン・ソヴュール大聖堂(cathédrale Saint-Sauveur)。最も古い部分は、5世紀に建てられたとも言われています。大聖堂の向かいにある政治学院には、かつてポール・セザンヌが法学部に在籍していました。

テルム・セクスティウス(Thermes Sextius)は、ローマ時代の古い温泉を温泉治療センターにしたものです。エクス・アン・プロヴァンスでくつろぎのひとときをお約束します。

www.thermes-sextius.com

高台にあるセザンヌのアトリエを訪れる前に、マザラン地区を是非訪れてください。グラネ美術館では、セザンヌの絵画10点を展示しています。特別展も定期的に開催されています。

絵画の巨匠、ポール・セザンヌを愛してやまないあなた、歩道に埋め込まれたイニシャル「C」を辿っていけば「セザンヌの足跡」を訪ねることができますよ。

www.cezanne-en-provence.com

エクス・アン・プロヴァンスの北で、ピリカル (Puyricard) 側には、洗練されたワインで有名なドメヌ「シャトー・ラ・コスト (Château La Coste)」があります。ここでは、芸術と自然が一体化し、今評判の数多くの現代アーティストの作品がぶどう畑とオリーブ畑の中に点在し、ここを訪れる人々を楽しませてくれます。

現代美術センター

www.chateau-la-coste.com

手帳にチェック

- 3月～4月:復活祭フェスティバル(Festival de Pâques)典礼音楽
- 3月～4月:第9回漫画祭り(Festival de la bande dessinée)
- 7月:エクス・アン・プロヴァンス フェスティバル (Festival d'Aix-en-Provence)
- 7月～8月:国際ロック・ダンテロン・ピアノの祭典 (Festival international de piano de la Roque d'Anthéron)
- 11月～12月:マルチメディアセカンドネイチャー祭典 (Festival multimédia Seconde Nature)

おすすめショッピング

- カリソン Les calissons

アーモンド・ペーストで作った小さなひし形の砂糖菓子。エクス・アン・プロヴァンスのこの名菓子は、主要なキリスト教のお祭りの際に信者に配られました。

www.leonard-parli.com

- ピュリカールのチョコレート

Les chocolats de Puyricard

職人が作り上げるチョコレートは、洗練されており、豊富な種類と高い品質が有名です。月曜日から木曜日は、製造するアトリエを訪れることができます。金曜日と土曜日には、ショコラティエの先生による研修を受けることも可能です(空き状況はオンラインでご確認ください)

www.puyricard.fr

- オリーブオイル L'huile d'olive

18世紀よりオリーブの産地として知られている、エクス・アン・プロヴァンスとその地域で生産されるオリーブオイルは、原産地呼称統制(AOC)オリーブオイルとしてその品質を保証されています。

www.huile-olive-aix-en-provence.com

- エクス・アン・プロヴァンス地方のワイン

Les vins des côtes d'Aix-en-Provence

原産地呼称統制(AOC)ワインです。複数のブドウ品種から生産される赤ワインは、ブレンダーや製法によって芳醇な香りの若いワインから、熟成ワインまで様々です。果物の香りが一杯に広がるロゼは、是非冷たくしてどうぞ!

www.vinsdeprovence.com

- エクス・アン・プロヴァンスのマルシェ marché à Aix

花や野菜、洋服やまた骨董品まで買えるマルシェや蚤の市もお忘れなく。毎日マルシェは開かれています、特に火曜、木曜、土曜のマルシェは規模が大きく見応え十分です

おすすめホテル&レストラン

NEW

- マリオット・ルネッサンス(5つ星) Marriott Renaissance 5*

2014年1月開業したこちらのホテルの部屋数は133室、スパが1店舗、レストランが2店舗あります。プロヴァンス大劇場周辺の新地区に新たに出現しました。

www.marriott.com

- ホテル・ル・ピゴネ(5つ星) L'Hôtel le Pigonnet 5*

中心地から徒歩圏内にあり、洗練された18世紀の様式と現代プロヴァンス様式が見事に調和した優美な邸宅を改築したホテル。

www.hotelpigonnet.com

NEW

- レ・ロッジ・ドゥ・ラ・サント・ピクトワール(4つ星) Les Lodges de la Sainte-Victoire 4*

エクス・アン・プロヴァンス近くにある、5ヘクタールの私有地の中央に位置します。有名なサント・ピクトワール山の麓でぶどう畑とオリーブ畑に囲まれた場所です。2013年7月に開業しました。その昔「シャトー」の愛称で呼ばれていた18世紀の歴史のある建物の中に、スイートを含む35室があります。さらには、スパ施設、そして美食レストランもあります。プライベート空間が保たれるラグジュアリーなロッジが4室あり、隣接しています。それぞれに温水プールがついています。レストランでは、素晴らしい料理が提供されます。現在レストランガイド2014年版のランキング結果を待っています。

www.leslodgessainte victoire.com

- シャトー・ドゥ・ラ・ピオリヌ(4つ星) Le Château de la Pioline 4*

歴史的遺産となっている16世紀のお城を改築したホテルは、街の中心地からすぐの場所にあり、2012年には全面的な改装工事が行われました。

www.chateaudelapioline.com

- ホテル・セザンヌ(4つ星) L'Hôtel Cézanne 4*

市内の文化・歴史地区の中心にある、都会的センスと心地よいデザインを兼ね備えたブティック・ホテル。

www.cezanne.hotelaix.com

- ホテル・ロワイヤル・ミラボー(4つ星) L'Hôtel Royal Mirabeau 4*

サント・ヴィクトワール山が正面に見えます。18ホールのゴルフ場もあります。

www.hotelroyalmirabeau.com

- ホテル・ドゥ・ガンテス L'Hôtel de Gantès

ミラボー大通り沿いで、伝説的なカフェ「レ・ドゥ・ギャルソン (les Deux Garçons)」が下にある魅力的なホテルです。モダンさと歴史が調和した繊細なインテリアが魅力の部屋は11室あり、最上階にはテラス付きスイートがあります。

www.hoteldegantes.com

- ル・ヴァンチュイット・ア・エクス Le 28 à Aix

17世紀の個人邸宅を改装し、ティーサロン、ブティック、芸術作品のギャラリーや装飾のアトリエがある豪華ペンション。

www.28-a-aix.com

- ラ・メゾン・デクス La Maison d'Aix

シックな歴史地区、マザラン地区の威厳ある邸宅。ラヴ・スイートルームでの宿泊とシークレット・スパを是非、ご堪能ください。

www.lamaisondaix.com

- レ・ドゥ・フレール Les 2 Frères

同名のレストランが中心街で大成功を収めた後、拡大移転して素敵なテラス席が出来ました。エクス・アン・プロヴァンスでは珍しく、ロトンド広場に程近い場所に駐車場があります。

www.les2freres.com

NEW

- ラ・フロマジュリー・デュ・パッサージュ La Fromagerie du Passage

アガール・パッサージュにある素敵なチーズ専門店で、レストランが2フロア併設されています。2階は、長テーブルとバーを備えた大

ホールとなっていて、3階には、巨大パラソルと冬の暖房器具が備わったルーフテラス席があります。レストランでは、1階専門店の商品を使った料理が味わえます。チーズ好きには「絶対必見」の場所です。

www.lafromageriedupassage.fr

- ル・ジャルダン・マザラン Le Jardin Mazarin

エクス・アン・プロヴァンスのシックな住宅街にある親しみやすいレストランです。邸宅の1階では、昼と夜洗練された料理でゲストを迎えます。ケーキと一緒に「フランス流」ティータイムを楽しむのにも最高の場所です。

www.jardinmazarin.com

おすすめのアジア料理店

- ケイ タム Cay Tam

29 Rue de la Verrerie

☎ +33 (0)4 42 27 28 11

- オー・ゼン・ル・パッサージュ O zen le passage

10 Rue Villars

☎ +33 (0)4 42 37 09 00

www.ozenaixenprovence.fr

- ロン・ユアン Long Yuan

4 Rue Emeric David

☎ +33 (0)4 42 38 77 53

詳しくはこちらどうぞ

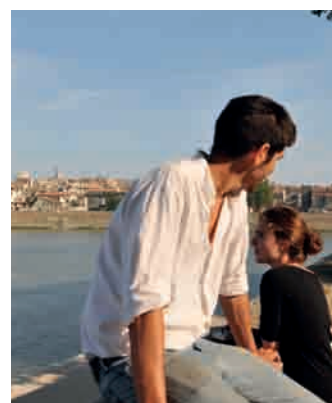
www.prestigetourismepaca.fr

www.tourismepaca.fr

www.aixenprovencetourism.com



アルル、カマルグ湿原地帯とアルピーユ山脈の間に位置する街



ヴァン・ゴッホは弟テオにあてた手紙の中で、芸術家達がアルルに集まり南仏にアトリエを構えてくれたらどんなにいいだろうかと書きました。

ゴッホをとりこにしたプロヴァンス独特の光は、今も健在です。ケルト人からローマ人、現代に至る世代が残した壮大な建築遺跡とともに、訪れる人々を魅了してやみません。

ローマ人が小ローマと呼んだアルルでは、時間旅行が可能です。様々な文化遺産が集まったこの場所は、一つの街というより「精神的なよりどころ」を形成しています。プラタナスの並木と多くの人でにぎわうカフェテラスが続くリヌ大通り(boulevard des Lices)、そしてジャルダン・デテ(jardin d'été、夏の庭園)からポルト・ド・ローレル通り(Porte de Laure)に出れば、古代の街に出会えます。アレヌ(Arènes)と呼ばれる壮大な円形闘技場では、復活祭から9月初めまで闘牛が行われます。すぐそばの紀元前1世紀に建てられた古代劇場では、舞台を取り巻く壁の跡と2本の大理石の円柱が、見事に調和しています。夏に数多く行われるスペクタクルが、この古代遺跡に華を添えます。古代劇場からフォーラム広場(place du Forum)まで細い通りに立ち並ぶ美しい館の街並みは、ローマ人による日々の労働の賜物です。フォーラム広場は、**ヴァン・ゴッホの「夜のカフェテラス」**で有名になりました。**ヴァン・ゴッホの足跡**では、複製画のパネルによってゴッホがイーゼルを置いた場所が示されています。

フォーラム広場に面して建つ**ホテル・ノール・ピニユス(hôtel Nord Pinus)**は、ピカソをはじめ多くの有名人が宿泊した由緒あるホテルで、ギリシャ神話ゼウスの神殿の名残であるコリント様式の2本の円柱は見ごたえがあります。ホテルのブラスリーでワインを味わい、居心地の良い雰囲気を楽しんでみましょう。その横にある市庁舎では、玄関を抜けて、かつて年季明けの国内巡歴の職人たちが称賛した、平に近い丸天井をご覧下さい。そしてサン・トロフィーム教会(église Saint-Trophime)正面入り口のすばらしい彫刻を後に中へと進んでゆくと、ロマネスク様式の身廊の美しさと、ゴシック様式の装飾や石棺のコントラストに魅了されます。

アリスカン(Alyscamps) プロヴァンスの方言ではシャン・ゼリゼと呼びます)は、中世時代までは、ヨーロッパで最も壮大な墓地のひとつでした。

墓地の守り神が祭られているサン・トノラ教会(église Saint-Honorat)まで、参道に並ぶ石棺の中にはギリシャ石棺も含まれています。

「**グランド・アール grande halle**」は、昔のアトリエを文化ホールに改築した現代建築物で、マルチメディアの本格的な拠点となっています。(入館できるのは国際写真祭期間中のみであることにご注意ください)

アルル古代博物館(musée Arles Antique)には有名なカエサル大帝の半身像があり、古代ギリシャ・ローマ時代におけるアルルの役割について、より深く知ることができます。

レアチュー美術館(musée Réattu)はかつてのマルタ騎士団の館で、所蔵作品も豊富です。この美術館に魅せられたピカソは一連のデッサンを寄贈し、その作品はピカソの特別展示室に飾られています。アルル生まれの有名なデザイナー、クリスチャン・ラクロワ(Christian Lacroix)は、アルルの多彩な色彩とスタイルに大きな影響を受けています。

時代ごとのシンボルが生まれるアルル。何かを建設する情熱は今も健在で、カルフォルニアの建築家**フランク・ゲーリー(Frank Gehry)**が設計するルマ財団の建物の完成が待たれています。

アルルの南側には、カマルグの野生地帯が広がっています。そこには雄牛や馬が見られ、ヨーロッパ最大のピンクフラミンゴの飛来地でもあります。北側にはアルピール山脈と渓谷があり、そこには広大なオリーブ畑が広がり、モーサンヌ(Maussane)、フォンビエーユ(Fontvieille)、ムーリエス(Mouriès)といった代表的な村があります。

中世の趣のある**レ・ボー・ドゥ・プロヴァンス(Le Baux de Provence)**は、「フランスで最も美しい村」に指定されており、是非立ち寄っていただきたい場所です。

数キロ先には、**サン・レミ・ドゥ・プロヴァンス(Saint-Rémy-de-Provence)**があります。ここでヴァン・ゴッホは、最も有名な絵画(アイリス、サン・ポール精神病院)のインスピレーションを得ました。

古代建築の宝が隠されていたこの場所は、現在クリエイターやアーティストが集まる場となっています。

おすすめショッピング

- **ガルディアン(Gardian 牛や馬の番人)の装具一式**
ブーツ、帽子、ズボン、ピロードの上着などは、すべてアルル市内にあるお店で購入できます。

- **レ・ザンディアンヌ・ドゥ・ニーム Les Indiennes de Nîmes**

14 Place de la République
www.indiennesdenimes.fr

- **スレアド Souleïado**

質のよいプロヴァンス柄の生地が買えます。工場は、すぐ近くのタラスコン(Tarascon)コミュニティにあります。

www.souleiado.com

- **レ・オリヴァド Les Olivades**
www.lesolivades.fr

- **アクツ・シュッド Actes Sud**

フランスで、ニーナ・ベルベーロワ(Nina Berberova)、ポール・オースター(Paul Auster)、スティグ・ラーソン(Stieg Larsson)の本を出版したアルルに本社を置く有名な出版社です。

www.actes-sud.fr

- **ヴィラ・ナチュラ Villa Natura**

カマルグ米、フルール・ド・セル(塩の花)と呼ばれる天然塩、アルルのソーセージなどが買えます。その他、土曜日の朝に開かれる地域最大のマルシェやアルル市内の主な広場や通りにある専門店でも、名産品が買えます。

手帳にチェック

- 4/18~21:
春の闘牛 (La Ferie de Pâques)
- 2014年5月1日:
牧童祭 (Fête des gardians)と
第22回アルル女王選挙
- 7/4~7/6:アルル祭り (Fêtes d'Arles)
- 7/7~7/14:
「アルル国際写真祭 (Les Rencontres d'Arles)」映画祭ならカンヌ、写真祭ならアルルと言われるくらい権威ある国際写真展。
- 7/7~9/21は写真展です。
- レアチュール美術館 (Le musée Réattu)
アルル国際写真祭を立ち上げた写真家で間もなく80歳を迎えるルシアン・クレルグ (Lucien Clergue) にオマージュを捧げた写真展覧会を開催します。
- 7/14~7/20:
「レ・シュッド・ア・アルル (Les Suds à Arles)」ワールドミュージック祭り
- 9/12~9/14:
初穂の闘牛とカマルググルメ (Feria du Riz et Camargue gourmande)
- 11月中旬~1月中旬:
国際サントン人形見本市 (Salon international des santonniers)

2014年アルルで新しくなるもの

- ヴァン・ゴッホ財団
Fondation Vincent Van Gogh オープン
- 県立古代アルル美術館
Musée Départemental de l'Arles antique
の拡張。世界で最も保存状態が良い、長さ31メートルの古代ローマ船が公開されます。

おすすめホテル&レストラン
ミシュランガイド三つ星店の都市、アルル

- アトリエ・ド・ジャン＝リュック・ラバネル
L'Atelier de Jean-Luc Rabanel
ジャン＝リュック・ラバネルは「オーガニック料理」で初めてミシュランガイドの星を獲得しました。ミシュランガイドで2つ星、ゴー・エ・ミヨー (Gault et Millau) で5つのコック帽を持つシェフが作り出すオーガニック野菜や食材を使用した料理を是非味わってください。ゴー・エ・ミヨーで2つのコック帽の評価を得た「ア・コテ・ル・ビストロ (A Côte Le

Bistrot)」では、「カジュアル」な食事を楽しむことができます。

NEW

- レ・ザパルテ Les Appartés
ゲストと友人を迎えるための宿泊施設です。建築家が建てた200平米のメゾンの中にあります。料理教室もあります。
www.rabanel.com

- ラ・シャサニエット La Chassagnette
アルマン・アルナル (Armand Arnal) シェフが、自家菜園でとれるオーガニック野菜をベースにした料理を作ります。
(ミシュラン・ガイド 一つ星)
www.chassagnette.fr

- ル・ジュール・セザール (4つ星) Le Jules César 4*
もともとは17世紀のカルメル会修道院でしたが、今は特徴あるホテルになっています。復活祭にリニューアルオープン。アルル出身のスタイリスト&デザイナー、クリスチャン・ラクロワ (Christian Lacroix) が改装を指揮しました。
www.hotel-julescesar.fr

- ホテル・ノール・ピニウス (4つ星)
L'hôtel Nord Pinus 4*
「ホテル・ノール・ピニウスは、全てのアルル市民の記憶が詰まったホテルです。子供の頃の私にとってこの場所は、保養地、社交界、そしてなによりも闘牛にゆかりのある殿堂でした。旅への手ほどきをうけたかのようにでした。」クリスチャン・ラクロワ (Christian Lacroix) 談
www.nord-pinus.com

- ル・カランダル (3つ星)
L'hôtel-restaurant Spa Le Calendal 3*
併設したホテル。アルルの歴史地区の中心にある理想的なロケーションです。古代劇場と円形闘技場の間にあります。おしゃれでカラフルな部屋が38室あります。宿泊客はスパへ入場することができます。
www.lecalendal.com

- ホテル・ドゥ・ランフィテアートル (2つ星)
L'hôtel de l'Amphithéâtre 2*
17世紀の美しい館を改装したホテルは、旧市街の円形闘技場と古代劇場からもすぐです。
www.hotelamphitheatre.fr

- ル・クロワトル Le Cloître
アルルの歴史地区にある、親しみやすいデザインホテルで、20部屋あります。ヴァン・ゴッホ財団からわずか500メートル。ルーフトラスにはバーがあります。
www.hotel-cloitre.com

カマルグ

アルルの玄関口にはローヌ川の三角州が広がっています。それがヨーロッパで最も美しい景勝地のひとつであるカマルグです。そこには、カマルグ地方自然公園で保護されている動物や植物が生息しており、よそでは見られない豊かさを誇ります。

おすすめホテル&レストラン

- ル・マ・ドゥ・パン (5つ星) Le Mas de Peint 5*
で神秘的なカマルグの中心にあり、広大な自然に囲まれています。
17世紀の優雅な屋敷は、ゲストハウスの気軽さと魅力的なホテルの良さを兼ね備え、本場の料理が楽しめる家族経営の宿です。
www.masdepeint.com

おすすめ散歩

- カマルグ地方公園
Le Parc Regional de Camargue
・カマルグ博物館 Musée de la Camargue
www.parc-camargue.fr
・ヴィゲイラ・マ・ティベール湿地
Marais du Vigueirat Mas Thibert
www.marais-vigueirat.reserves-naturelles.fr
・ドメヌ・ドゥ・ラ・パリサッド
Domaine de la Palissade
www.conservatoire-du-littoral.fr

- マ・ドゥ・ラ・シャサニエ
Au Mas de la Chassagne
ジャラベール家は、4代前から、カマルグ地方公園の真ん中に位置するこの場所でカマルグ純血種の馬と闘牛を飼育しています。350ヘクタールある敷地内に闘牛場があり、闘牛ショーを見ることができます。自然の中で飼育されている家畜や有機農業に適した土壌を是非見にきて下さい。
www.manade-jalabert.camargue.fr

- ハイヤーまたはミニバスでオリジナルの小旅行を企画しましょう
アルピーユ、カマルグ、リュベロン、コートブルーへ出かけてみませんか。
www.arles-taxis-services.com

- 四輪駆動車でサファリ

サント・マリ・ドゥ・ラ・メール (Saintes-Maries-de-la-Mer) 発のツアーに出かけませんか。

熱心で経験豊かなガイドが解説をしながら、カマルグを案内します。

www.camargue.com

- ル・フェニシアン Le Phénicien でいく

ローヌ川のリパークルーズ

豪華で広々とした船上ホテルには、光が降り注ぎ、とても快適です。18名まで乗船できる「プロヴァンス・カマルグ (Provence Camargue) 号」は代表的なリパークルーズとなっています。

www.rhone-croisiere.com

アルピュ LES ALPILLES

アルルの北にボーとアルピュ渓谷が広がります。見渡す限りのオリーブとぶどう畑、アルピュ山脈と白い石灰岩が織りなす景色が観光客の心を捉えて離しません。

ここで一番有名なのがレ・ボー・ドゥ・プロヴァンス村 (Les-Baux-de-Provence) とヴァン・ゴッホが立ち寄ったことで知られるサン・レミ・ドゥ・プロヴァンス (Saint-Rémy de Provence) 村です。

おすすめホテル&レストラン

- ル・シャトー・デ・ザルピユ (5つ星)

Le Château des Alpilles 5*

サン・レミ・ドゥ・プロヴァンスに近く、素晴らしい植栽を誇る公園内にあります。19世紀のこの素晴らしい邸宅は、過去にシャトーブリアンやラマルティエヌなど著名人を迎えました。

www.chateaudesalpilles.com

- ル・ヴァロン・ヴァルルーグ スパ (5つ星)

Le Vallon de Valrugues SPA 5*

魅力的で荘厳な雰囲気を持つホテルです。ホテル内のレストランはミシュランガイドで星を獲得しています。自然遊歩道から目と鼻の先にあり、ヴァン・ゴッホがサン・レミ・ドゥ・プロヴァンス滞在中に描いた場所を辿るのにも便利な場所にあります。

www.vallondevalrugues.com

NEW

- ル・ドメヌ・ドゥ・マンヴィル (5つ星)

Le Domaine de Manville 5*

アルピュ山脈の中心にあるレ・ボー・ドゥ・

プロヴァンスの平原にあります。レ・ボーの街のふもとにあるこの施設は、これ以上ない恵まれた風景の中にあります。100ヘクタールの敷地内に、5つ星のホテル・スパ、30室の部屋、レストラン2軒、プライベートな映画館、220m²の広さがある宿泊施設が9軒、18ホールのゴルフ場があります。ゴルフ場は完全にリニューアルし、環境認証を受けており、環境に優しいゴルフ場になりました。

www.domainedemanville.fr

- ラ・カブ・ドール・ドゥ・スパ (5つ星)

La Cabro d'Or 5* & Spa

アルピュ山脈のレ・ボー村の麓で、素晴らしい環境の中にあります。スパと自家有機農園を持つミシュランガイドで一つ星に輝いたレストランも入っています。

www.lacabrodor.com

- ル・シャトー・ドゥ・ルーサン (4つ星)

Le Château de Roussan 4*

17世紀に建てられた大邸宅であり、最初のオーナーとなったのはミシェル・ドゥ・ノートルダム (Michel de Nostre-Dame) いわゆる「ノストラダムス (Nostradamus)」でした。6ヘクタールの庭園の中心にプロヴァンス風の部屋が20室あります。真のプロヴァンスの環境に心いくまで浸ってください。

www.chateauderoussan.com

- ル・アモー・デ・ボー (4つ星)

Le Hameau des Baux 4*

ここは「ホテル・ビレッジ」です。スイートを含む部屋は20室、お客様を伝統的なプロヴァンスの心でお迎えします。美食レストランとビストロがそれぞれ一軒ずつあります。二本の立派なプラタナの木が立つビレッジの中央広場に、噴水があります。

www.hameauesbaux.com

- ラ・バスティッド・デ・ガリエール (3つ星)

La Bastide d'Eygalières 3*

ガリグの中にある魅惑的なホテル、うっそうとした庭園に取り囲まれています。田舎風の別荘には部屋が14室あり、レストランではオーガニック色の強いプロヴァンス料理を提供しています。

www.hotellabastide.com

- ル・マ・ドゥ・ルリヴィ (3つ星)

Le Mas de l'Oulivie 3*

レ・ボー・ドゥ・プロヴァンスの岩石の多い丘の麓に位置します。「自然の中にあるホテル (Hôtels au Naturel)」や「庭園のもてなし (Accueil du Parc)」の認証を受けているホ

テルです。それは、アルピュ地方自然公園に愛着を持ち、環境を守っている証でもあります。

www.masdeloulivie.com

おすすめ散歩

- サン・レミ・ドゥ・プロヴァンスに滞在したヴァン・ゴッホ

この場所にはヴァン・ゴッホの記憶が残っています。タウンツアーではヴァン・ゴッホが訪れた場所を巡ります。ヴァン・ゴッホが絵にした場所は、パネル表示がしてあります。ツアーでは、復元されたサン・ポール・ドゥ・モゾル精神病院の病室を訪ねることができま

www.saintpauldemausole.fr

- レ・ボー・ドゥ・プロヴァンスの村

「フランスで最も美しい村 (plus beau village de France)」に指定されています。また中世の城も見どころです。

www.lesbauxdeprovence.com

カリエール・ドゥ・ルミエール

Carrières de Lumières

ボー・ドゥ・プロヴァンスの採石場 (カリエール) は、ボーの城や城内の建設に必要な白い石灰石を採掘するために掘られていました。1959年「オルフェの遺言 (Le Testament d'Orphée)」をこの採石場で撮影したジャン・コクトー (Jean Cocteau) の天性のひらめきにより、採石場がアートでよみがえることになりました。フランス最大のマルチメディアによるインスタレーションです。音と光のスペクタクルが上映され、訪れた人がその雰囲気

に酔いしれています。上映スペクタクル：2014年3月15日から2015年1月6日まで「クリムトとウィーンの画家たち、黄金とカラーの世紀 (Klimt et les artistes viennois, un siècle d'or et de couleurs)」が上映されます。

www.carrieres-lumieres.com

詳しくはこちらどうぞ

www.prestigetourismepaca.fr

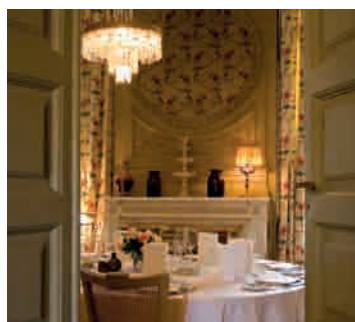
www.tourismepaca.fr

www.arlestourisme.com

www.lesbauxdeprovence.com

www.saintremy-de-provence.com

アヴィニョン、法王の都市



「秋の日の入りの美しい時間帯にアヴィニョンへ到着すること。それは本当にすばらしいことだ。秋、日の入り、アヴィニョンが3つのハーモニーを奏でる」ヴィクトル・ユーゴーは妻に、アヴィニョンの街をこう語りました。

アヴィニョンは、だれもが子供の頃に口ずさんだ童謡の歌詞で有名なベネゼ橋と、15,000mにも及ぶ広大な法王庁で世界的に知られています。

アヴィニョンの街の観光は、法王庁から始めましょう。建物は、1334年にベネディクト12世によって建てられた旧庁と、1342年にクレメンス6世によって建てられた新庁の二つの部分に分かれています。法王庁の中庭は、アヴィニョンの活気が最高潮に達するアヴィニョン演劇祭の舞台となります。中に進むと、法王の部屋、大法廷、大礼拝堂が見えてきます。法王庁見学の後、ブテイユリー (Bouteillerie) と呼ばれるワインショップで、シャトーヌフ・ドゥ・パープやコート・デュ・ローヌといった有名ワインを購入することができます。

調和の保たれた街の歴史的建造物の美しさに魅了されながら、法王庁の周りを歩いてゆくと、ミランド広場 (Place de la Mirande) に出ます。緑豊かなロシェ・ドゥ・ドン公園 (rocher de Doms)、そしてローヌ川に突き出たベネゼ橋、その対岸はヴィルヌーヴ・レ・ザヴィニョン (Villeneuve-les-Avignon) の街が広がります。また法王庁広場と時計台広場の間にある、17世紀に建てられた造幣局 (hôtel des Monnaies) のすばらしいファサード (正面) は必見です。

夏のアヴィニョン演劇祭の期間中は、法王庁広場をはじめあらゆる場所が劇場の舞台となり、様々なスペクタクルが繰り広げられます。

古い歴史を持つアヴィニョンの街を歩くと、例えば、サド侯爵の館、ケレスティヌ会の修道院 (couvent des Célestins)、タンチュリエ (Teinturiers 染物屋) 通り、ペニタン・グリ礼拝堂 (chapelle des Pénitents gris)、ルネ王の館と、いたる所で、法王庁時代の気品が今も漂う街の情緒を感じます。

中央市場レ・アール (Les Halles) では、地元産の食材と市場の雰囲気を楽しんでください。

アヴィニョンの中心地を囲む、14世紀に築かれた城壁に沿って歩いてみましょう。有名なアヴィニョンの橋、別名ベネゼ橋は、言い伝えによるとベネゼという羊飼いにによって架けられたと言われています。子供の頃に歌った童謡の歌詞を思い出し、橋の上でダンスを踊ってみませんか。

アヴィニョンは、プロヴァンスの現代文化と類まれな遺産が完全に調和する街です。サイ・トゥオンブリー (Cy Twombly)、ソル・ルウィット (Sol Lewitt)、ニエーレ・トロニ (Niele Toroni)、バスキア (Basquiat)、ナン・ゴールドイン (Nan Goldin) といった現代芸術のメジャーなアーティストたちの作品を集めたイヴォン・ランペール (Yvon Lambert) が、最近アヴィニョンに寄贈したこともそのことを示しています。この寄贈によって、定期的に国際規模の展覧会が開催されることでしょう。

手帳にチェック

2014年7月4日～27日 (変更の可能性あり)、文化の一大イベントであるアヴィニョン演劇祭と**オフ (Le festival OFF)**が開催予定です。今年新ディレクターとしてオリヴィエ・ピィ (Olivier Py) を迎える**イン (le festival IN)**では、**3週間**で**40**のスペクタクルが上演予定です。

www.festival-avignon.com

オフでは、**900**の団体に出会うことができます。様々なジャンルの生の劇が見られます。一日**1000**の演目が上演される予定です。

www.avignonleoff.com

アヴィニョン・ルミネセンス シーズン2

Les luminescences d'Avignon. Saison 2. 2014年8月中旬から10月上旬まで、毎晩法王庁の中庭が光をまといます。迫力ある3D高画質の巨大映像とともに夢の旅へと誘います。

これからの予定

2014年3月21日～6月15日までアングラドン美術館 (musée Angladon) でトゥルーズ・ロートレック展 (Toulouse Lautrec) とスペクタクルアート展が開催予定です。

www.angladon.com

おすすめショッピング

- レ・アール Les Halles d'Avignon

色とりどりのフルーツや野菜、トリュフ、オリーブオイルなどプロヴァンスの美食を支える全ての食材がここで手に入ります。

www.avignon-leshalles.com

- 法王庁のブティエリー boutique

ワインはワインでもただのワインではありません。コート・デュ・ローヌやシャトーヌフ・デュ・パプがセラー価格で買えます。

www.avignon-boutellerie.com

- アリーヌ・ゲアン ショコラティエ

Aline Gehant Chocolatier

ワークショップが開かれる毎週土曜日の午後は、チョコレートが試食できます。

<http://agchocolatier.e-monsite.com>

- デリス・デュ・リュベロ Délice du Luberon

タブナード、ナスのキャビアなどアヴィニオン周辺の特産物が買えます。

住所: 20 place du change - Avignon

おすすめホテル&レストラン

- ラ・ミランド(5つ星) L'Hôtel La Mirande 5*

この宮殿ホテルに滞在すれば、人生の幸福に包まれることでしょう。世界最大のゴシック様式の宮殿の近くにあるラ・ミランドは、生きている記念碑であるといっても過言ではありません。17世紀のファサードの裏に位置するホテルの部屋は、彩色された板張りや古い寄木張りの床が特徴的です。また美食レストランも一軒入っています。一年を通して料理教室や即興コンサートが開かれています。レストランでは、ジャン＝クロード・オーベルタン(Jean Claude Aubertin)シェフが、美味しい料理を提供しています。会食用テーブルでは、シェフたちが目の前で料理を作って盛り上げます。19世紀のかまどを備えた中世時代の厨房で催されるこのイベントは、オリジナルコンセプトとなっています。

www.la-mirande.fr

- ホテル ドゥー・ロップ(5つ星) L'Hôtel d'Europe 5*

1580年、ドゥ・クラブソン伯爵(Marquis de Graveson)によって建てられた館です。街の中心にあります。19世紀にはヴィクトル・ユーゴー(Victor Hugo)やチャールズ・ディケンズ(Charles Dickens)が滞在したホテルです。雑誌Travel & Leisureで2007年世界ホテル100選に入りました。

www.heurope.com

- ル・プリウレ(5つ星) L'Hôtel le Prieuré 5*

ル・エ・シャトー(Relais&Châteaux)のメンバーホテルです。ヴィルヌブ・レ・ザヴィニオン(Villeneuve-lès-Avignon)村にあり、アヴィニオンの中心からも近い場所にあります。14世紀の建造物ですが、改装され、現代的な調度品が当時の石造りの建物に溶け込んでいます。美食レストランもあります。

www.leprieure.com

- メルクール・ポン・ダヴィニオン(4つ星)

L'hôtel Mercure Pont d'Avignon 4*

2013年に完全改装されました。法王庁、有名なアヴィニオン橋や時計台広場(la place de l'Horloge)からも目と鼻の先という申し分のない立地にあります。劇場やカフェが多く活気のある旧市街の真ん中に位置しています。

www.mercure.com

- ル・ノボテル・アヴィニオン・サントル(4つ星)

Le Novotel Avignon Centre 4*

城壁の正面に位置する新世代のホテルです。9室のスイートを含む130室の部屋があり、最新機器を備えた700平米の会議室があります。地中海風パティオの中心には、プールやテラスのあるレストランやバーがあります。更には360平米のスパが入っています。

www.novotel.com

- オートゥール・ドゥ・プチ・パラディ

Autour du Petit Paradis

17世紀の特徴を持つ邸宅風ホテルです。街の中心地にありながら静かで緑豊かな場所です。完全改装されたアパートマンは11室あり、品のよい家具が備え付けられています。時代を感じるエスプリに現代の快適さが結びつき、エコロジーへの配慮も忘れないホテルです。

www.autourdupetitparadis.com

- レストラン クリスチアン・エチエンヌ

Le restaurant Christian Etienne

法王庁の近くのこの店でシェフを務めるのは、才能あるメートル・キウジニエ・ドゥ・フランス(Maître Cuisinier de France)です。テロワールの味わいを見直し、ミシュランガイドで1つ星を獲得しました。

www.christian-etienne.fr

- レストラン ル・ディアソン

Le Restaurant le Diapason

ルワン・ウサン(Erwan Houssin)シェフは、料理の腕を確かなものにした後、カルカッソンの若手菓子職人に会い、結婚しました。2009年、アヴィニオン近くの別荘地に、この店をオープンさせました。2011年、初めてミ

シュランガイドで星を獲得しました。

www.lediapason-restaurant.com

- コンセプト・シェフ Concept Chef

レ・アールとビストロ・デュ・カブスタン(Bistro du Cabestan)で開かれている大人と子供を対象とした料理教室です。

www.conceptchef.com

おすすめアジア料理店

- 中国ベトナム料理 Xuan

6 rue Galante

☎ +33 (0)4 90 86 03 75

www.restaurant-xuan-avignon.com

おすすめ散歩

- レ・バトー・フロムナード・ダヴィニオン社

les bateaux promenades d'Avignon

ローヌ川クルージングで見渡す限りのパノラマを堪能してください。弊社ではローヌ川のミニ・クルージングからスペクタクル付きディナー、ダンスの催しのあるクルージングまで、幅広いプログラムを提供いたします。

www.mireio.net

- レビキュリアム L'Epicurium

果物と野菜について楽しく学ぶ体験型博物館。世界中の野菜や果物を実際に果樹園、温室、菜園で見て学ぶことのできる、ヨーロッパで唯一の場所です。季節を通じて、料理教室や家庭菜園といった様々な催し物が開かれています。

www.epicurium.fr

- ミニバスやハイヤーでいくツアー

アヴィニオン発のツアーに出かけませんか。ラベンダー畑、カマルグ、リュベロン、ワイン、ガストロノミー、近距離から遠距離までお気に入りのツアーを見つけて下さい。

www.provencetours-avignon.com

www.provence-reservation.com

詳しくはこちらどうぞ

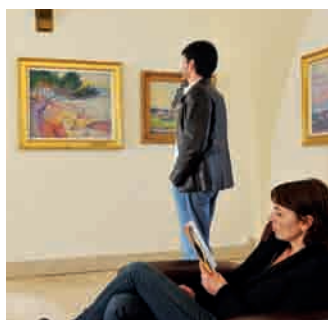
www.prestigetourismepaca.fr

www.tourismepaca.fr

www.provenceguide.com

www.avignon-tourisme.com

サン・トロペ、波乱の歴史をくぐりぬけた街



“かつてグリモー湾とよばれた美しい湾に面するサン・トロペは、サラセン帝国の首都であり、峰の頂上に建てられたほとんどの村々は、外部からの侵入者の攻撃を免れることができた。現在でもアーチ形の門や小さな窓が特徴のムーア様式の家並みが残り、中庭では屋根より高いヤシの大本木が茂っている。”

1887年、モーパッサンは小さな漁村をこう表現し、さらにシニャック、マティス、コレットといった芸術家によってサン・トロペは次第に知られるようになりました。この街に魅せられたピカソは大作“オダリスク”を描き、フランソワーズ・サガンとブリジット・バルドーの呼びかけで、サン・トロペには世界中の有名人が集まるようになりました。サン・トロペの例の憲兵を演じたルイ・ド・フネス主演の映画も、この小さな港町を有名にしたことを最後につけ加えておきましょう。

ただ、これはサン・トロペの一部の顔でしかありません。あふれる光と美しい入り江の地形、この小さな村に秘められた多くの魅力を是非、発見してください！

まだ入り江の水の流れが静かな早朝、港の周りを歩いてみると、色彩豊かなファサードやテラスの眺めはすばらしいのひとことに尽きます。港に面した「セネキエ Sènequier」は、かつてスターたちが頻繁に通ったカフェ。その港には、漁師の様々な大きさの船が浮かんでいます。

旧市街では、家々の屋根を見下ろすノートル・ダム・ドゥ・ラソンプション教会 (l' église de Notre-Dame de l'Assomption) の鐘楼が目印となるでしょう。教会はイタリア・バロック様式で、聖トロペの上半身像が祭られています。

風情ある小さな通りに身を任せて進んで行くと、リス広場 (place des Lices) へ出ます。「カフェ・デ・ザール Café des Arts」で食事を楽しんだら、ペタンクにトライしてみましようか？ペタンクは南仏を起源とするボールを転がして競うスポーツで、地元の人のみならず、保養でやってくるお金持ちの人たちにも人気があるのですよ！

19世紀以降、サン・トロペの村が有名になった歴史を理解するためには、**ラノンシアード**

美術館 (musée de l'Annonciade) を訪れてみるとよいでしょう。この村の素朴な雰囲気とあふれる陽光に魅せられた点描主義の巨匠、シニャックの最も美しい作品の他、この地に足を運んだマティス、ブラック、マイヨールといった多くの画家の作品も鑑賞できます。

入り江の最も美しい眺めを堪能するには、ちょっと苦勞することも必要です！でも、17世紀初め、高台に建てられた城塞から見下ろす街の家並みと青い入り江の美しい眺めに、その苦勞も吹き飛んでしまうことでしょう！！ふもとにある海辺の墓地のすぐそばまで、波が押し寄せてくる風景は圧巻です。

ポルタレ塔 (tour du Portalet) から伝説の**パンブロンヌ (Pampelonne)**ビーチまでは散歩道となっており、途中カヌビエ (Canebiers) の浜辺と、**ブリジット・バルドー**が家を購入し歌のタイトルにもなった“ラ・マドラーグ” (la Madrague、邦題一ふたりの夏にさようなら) を通ります。

サン・トロペのナイト・ライフも良く知られています。

- **レ・カーヴ・デュ・ロワ Les Caves du Roy**
www.lescavesduroy.com

- **ル・VIPルーム Le VIP Room**
www.viproom.fr

- **ル・ケ Le Quai**
www.lequaisaint-tropez.com

- **シェ・マギー Chez Maggy**
www.facebook.com/chezmaggy

- **ル・バー・デュ・ポート Le Bar du Port**
www.barduport.com

街を観光した後は、ショッピングを楽しみましょう

- **サン・トロペ真正正銘のサンダル**
Les véritables sandales tropéziennes,
1920年代から小さな港のそばのアトリエ、ロンディニ (rondini) で作られているひも付きサンダルで、オーダーメイドも可能です。

www.rondini.fr
もしくは **シェ・Kジャック chez KJacques :**
www.kjacques.fr

- **ギャス GAS**
かわいらしいファンタジーにあふれたアクセサリーショップ。現在では世界中に知られており、このお店の第1号店が1971年、サン・トロペにオープンしました。

www.gasbijoux.com

- **多くのブティック** (特にディオール、ヴィトン、エルメス、グッチ、ドルチェ・ガバナ、アルマーニ、ブラダ、ロロ・ピアナ、ジミー・チュウ、カヴァリといった有名ブランド店) が、**夏の時期には休みなく毎日オープンしています。**プロヴァンスの朝市 (火曜日と土曜日午前、リス広場) 魚の朝市 (毎日) へも是非どうぞ。

- **サン・トロペのタルト La tarte tropézienne,** ほのかにオレンジの花の香りのする、カスタードクリームを詰めたブリオッシュは、デリシャスの一言です！

www.tarte-tropezienne.com

手帳にチェック!

- 5月: ラテン帆、ヨットレースと銃士行列

- 6月: ジラグリア・ロレックス・クラブ (Giraglia Rolex Club)、3日間続くヨットレース

- 7月~10月: アノンシエード美術館、夏の特別展

- 7月: 国際ポロカップ

- 7月~8月: ムエット城 (Château de la Moutte)、夜のフェスティバル

- 10月第1週: サン・トロペ ヨットレース300隻以上のヨットが集結するヨットレースの一大イベント

- 10月最終週末: 古物市

www.ot-saint-tropez.com/decouvrez-nous/4192,agenda-des-evenements.html

おすすめのホテル&レストラン

**- ル・シャトー・ドゥ・ラ・メサーディエール (5ツ星)
Le Château de la Messardière 5* Palace**

サン・トロペ最大のホテル。スパ、アートギャラリー、10haの広大な敷地と、ミシュランガイドで一つ星のついたレストラン。この上ない贅沢な滞在となることでしょう!

www.messardiere.com

- ラ・レジデンス・ドゥ・ラ・ピネード (5ツ星)

La Résidence de la Pinède 5*

“Leading Hotels of the World” 加盟ホテル。併設レストラン、ラ・ヴァーグ・ドール La Vague d'Or は、ミシュランで二つ星を獲得しています。

www.residencepinede.com

- ホテル・ドゥ・パリ (5ツ星) L'hôtel de Paris 5*

サン・トロペの中心地にルネッサンス様式の伝説的なホテル。改装後、2012年春に再オープン。シビル・ドゥ・マルジュリが手がけた内装はおしゃれなデザインで、90の客室とスイートは1960年代と70年代のカラーで彩られています。

www.hoteldeparis-sainttropez.com

- ラ・ヴィラ・ベルローズ (5ツ星)

La Villa Belrose 5*

海と空にはさまれたガッサン (Gassin) の丘に建ち、7,000m²の敷地を誇ります。サン・トロペ湾を一望でき、ミシュランガイドで一つ星のレストランを併設しています。

www.villabelrose.com

- ホテル・ビブロス (5ツ星) L'Hôtel Byblos 5*

サン・トロペの中心にあり、ホテル自体が地中海の小さな村のようです。

www.byblos.com

- ホテル・ベンキライ (4ツ星) Hôtel Benkirai 4*

魅力と上質さを兼ね備えて新しくお目見えしたこのホテルは、38の客室があります。地中海沿岸の典型的な建築様式とパトリック・ジュワンが手がけたモダンな内装は、現代性と地中海の伝統のハーモニーが見事です。

www.charmandmore.com

詳しくはこちらからどうぞ。

www.prestigetourismepaca.fr

www.tourismepaca.fr

www.ot-saint-tropez.com



プロヴァンスのワイン



『ワインのない1日は、太陽の出ない1日のようだ』プロヴァンスのことわざより。

プロヴァンスでは、古代からブドウ畑が広がりワインが造られていました。紀元前5世紀に、ギリシャ人が南のガリア地方にブドウを栽培したのがその始まり、とされています。肥沃な地中海の土壌で赤、白、ロゼワインの全てを生産しています。

ヴォークリューズ県ではコート・デュ・ローヌと、味がしっかりした力強さを持つジゴンドス、ヴァケラス、ラストー、といった名の知れた赤ワインを生産しています。さらにシャトー・ヌフ・デュ・パージュは、世界の最も優れたワインのひとつに数えられています。その特徴として、赤ワインは力強く味がしまっており、白ワインは濃厚で芳醇な味わいです。ボーム・ドゥ・ヴェニーズ(Beaume-de-Venise)などで生産されている甘口ワインは、フォアグラやクッキーと一緒にどうぞ。

コート・デュ・ローヌ・・・この比類ないブドウ畑を是非、散策してみてください。ぎざぎざの起伏にとんだすばらしい景観が続くモンミライユ山塊(dentelles de Montmirail)を通り、遺跡が村に残るジゴンドス(Gigondas)へ行ってみましょう。セギュレ(Séguret)は“フランスの最も美しい村々”のひとつに認定され、家々が丘の脇に段階上に折り重なるように並び、ヴァケラス(Vacqueyras)は小高い丘にある村です。オレンジ(Orange)の見どころは古代劇場(Théâtre Antique)と凱旋門(Arc de Triomphe)、ユネスコ“世界遺産”に登録されています。オレンジの古代劇場は、ヨーロッパの中では一番良い状態で保存されており、特にその素晴らしい舞台の壁の見事な保存状態は、西欧諸国の中でも目を見張るものがあります。ローマ時代にスペクタクルが開催された場所でしたが、今日でも音楽愛好家が世界各地から集まる聖地といえるでしょう。

次にラストー(Rasteau)とカリアンヌ(Cairanne)を訪れてみましょう。カリアンヌの村の頂上まで上がった場所から眺める、見渡す限りのブドウ畑は圧巻です。ヴェゾン・ラ・ロメヌ(Vaison-la-Romaine)の見どころはローマ遺跡で、その周辺に広がるコート・デュ・ローヌでは、若いワインの造り手たちが活躍しています。道すがら見つけた数々のワイナリーやワインの造り手たちを訪ねていけば、それぞれのワインを味わい温かいおもてなしを受けること、間違いありません！

プロヴァンスで特に知られているワインは、コート・デュ・プロヴァンス。中でもロゼワインは、冷やして夏に庭の木陰で味わうのが一番です。気のおけない友人たちと一緒にワインを分かちあい、楽しい時間を過ごしましょう。くつろいで楽しむロゼワインは全て

の料理と相性が良く、様々な国の料理にもあいます。

ロゼワインは、それだけで味わうことのできるワインです。心からの自然な喜びが、体中からわいてきます。より自由で、よりくつろいだ気分で楽しめるという意味では、今までとは違う新しい味わい方が可能なワインなのです。少し離れたお隣の地域、ブッシュ・デュ・ローヌ県やヴァール県でもロゼワインを生産しています。

まだまだロゼワインの生産地域は広がっていますよ！セザンヌがあがめたたえたサント・ヴィクトワール(Sainte-Victoire)山のふもとから、巨匠の描いた風景が続くルセ(Rousset)を通り断崖絶壁の岬を望むカシ(Cassis)へ。そして入り江のカランクー帯に広がるブドウ畑へ上ってみましょう。

カランクーから数キロのところには、バンドル(Bandol)の港の美しい光景が広がります。バンドルのロゼワインも世界中に知られていますよ。もう少し足をのびてラ・カディエール・ダジュール(La Cadière d'Azur)へ。小高い丘にあるチャミングな村からは、目の前一面に広がるブドウ畑に感動することでしょう。

そして伝説的な港のある街、サン・トロペまで広がる“みずみずしい肥沃なプロヴァンス”とも呼ばれているブドウ畑を堪能してください！もし時間があればコランヌ(Correns)、別名“ピオ村”もおすすです。有機栽培の食材を使用した料理を味わってみるのも良いでしょう。

最後に、今までとはちがった角度からこの地方のワインを知るために、オリジナルで様々なサービスが提供されています。電動自転車でのブドウ畑のサイクリング、ハイキングコース、料理&ワイン教室、そしてブドウ畑の中にある施設での宿泊・・・こうした多彩なサービスを利用することで、フランス最古のブドウ畑が広がるこの地域をより深く理解できるでしょう。

手帳にチェック！

バンドルでは毎年12月の第1日曜日、ぶどうの収穫を祝うお祭りが行われます。

2014年7月9日～8月4日

「オレンジ音楽祭

Les Chorégies d'Orange」

<ナブッコNabucco>と<オテロOtello>のオペラ公演。

www.choregies.fr

ワインに関するおすすめアクティビティ

- ラ・カーヴ・バルマ・ヴェニシア

La cave Balma Vénitia

モンミライユ山塊とヴァントゥー山に囲まれたのどかな田舎の村、ボーム・ド・ヴェニーズ(Beaume-de-Venise)にあり、シェフとともに気軽に、料理とワインのマリアージュ・アートについて学びます。

www.dolium-restaurant.com

- テラ・ヴァントゥー(Terra Ventoux)のブドウ畑散策

ヴィル・シュル・オゾン(Villes-sur-Auzon)では、ヴァントゥーの原産地呼称統制(AOC)ワインが造られるブドウ畑を“自転車vélo”で周りましょう。でも、普通の自転車ではありませんよ！電動アシスト付き新世代の自転車で、通った道のりが簡単に表示で確認でき、桜の植樹園やブドウ畑の中で快適なサイクリングが楽しめます。特に途中でおつまみとワインのサービスをうければ、なおさらのことでしょう。また小型4輪馬車カレーシュ(calèche)で、オークル(黄土)がひろがる土地をゆっくり散策しましょう。ワインとともに、ヤギのチーズを召し上がってください。アペトリュフ(Aper'Truffes)では、トリュフ栽培者の協力のもと季節に応じて黒トリュフ、または夏に採れるトリュフをワインと一緒に味わっていただきます。

www.terraventoux.com

- レ・ヴィニヨロン・デ・キャラクター(特色ある個人ワイン生産者組合 Les vignerons de caractère)

ローヌ渓谷でワインに熟知し、情熱を注いでワインを生産する80家族から結成される組合。モンミライユ山塊の麓、ヴァケラスのワイン生産者達が同業者を招いて、ワインの試飲を行っています。

www.vigneronsdecaractere.com

- ラ・ブティエリー・デュ・パレ・デ・パージュ

La Bouteillerie du Palais des Papes

コート・デュ・ローヌの首都、アヴィニョンの法王庁裏手にあり、かつての大砲の展示室を改築してできたワインショップ。コート・デュ・ローヌの様々なワインが、ワイン製造元からの出荷価格で購入できます。

www.avignon-bouteillerie.com

- シャトー・ラ・ネルト Château La Nerthe

この広大な歴史的建築物は、法王たちがアヴィニョンに居を移し、この地域でブドウ栽培をはじめた12世紀に建てられました。今日でもなお、シャトー・ヌフ・デュ・パージュのブドウ畑の中心となっています。

www.chateaulanerthe.fr

・シャトー・ラ・コスト Château La Coste

芸術&建築&ワインを併せ持つ、エクス・アン・プロヴァンス近くのシャトー・ラ・コストは、他のドメーヌとは全く異なっています！復興のシンボルとしてフランス建築界のスター、ジャン・ヌーヴェルが設計した二つの醸造用建物には、半円筒のガラスとステンレスの装置が設置されています。ワイン・ツーリズムを積極的に推奨するこのシャトーにはアート・センターが併設され、主に現代アート紹介にはとても素晴らしい場所。森や丘、ブドウ畑、オリーブ畑の中を自由に散歩しながら、偉大な建築家—安藤忠雄、ルイーズ・ブルゴワ、フランク・オー・グリー、リム・ジリック、アンディー・ゴールスオーシー、宮島達男、ツンガ、フランツ、ウエストーといった展示作品を鑑賞できます。

www.chateau-la-coste.com

・シャトー・ボーリュ Château Beaulieu

シャトー・ボーリュの変貌、もしくはプロヴァンスのアル・ド・ヴィーヴル(生きることを楽しむ)・・・ボーリュのブドウ畑の歴史は、さかのぼること今から2000年以上前。プロヴァンス地方で唯一の火山噴火口のふもとに位置し、コート・デクス・アン・プロヴァンスのブドウ畑の中で最も広い面積を誇ります。敷地のすばらしい眺めが、建築家ラフルカード(Lafourcade)が改造した各客室とスイートルームから楽しめます。22haにも及ぶ歴史を持つ庭園の散歩やブドウ畑、地中海地域の植物やプロヴァンス唯一の火山を訪れたり、もちろんこの産地のワイン醸造について学ぶこともできます。

www.chateaubeaulieu.fr

・ラ・ヴィラ・マディー La Villa Madie

カラックとAOC「カシの白ワイン」で有名な、こじんまりとした保養地、カシにある、ミシュランガイドで2つ星のレストラン。地中海を展望できる高級レストランでは、典型的な地中海料理を650種類ものワインから選んで味わうことができますよ！

www.lavillamadie.com

・オステルリー・ベラル&スパ

Hostellerie Bérard & spa

ラ・カディエール・ダージュールにあり、プロヴァンスの料理教室とワイン講座を開いています。バンドルのワイン産地の中心にあるオステルリー・ベラルへは、昔から人々が立ち寄っていましたが、今日ではワイン講座を受けるためと同時に、ミシュランガイドで星を与えられたシェフ、ベラルの料理教室に参加する、という目的も加わりました。滞在をのびして、スパでくつろぎの時間を是非どうぞ。

www.hotel-berard.com

・ル・ドルチェ・フレガット(4つ星)

Le Dolce Frigate 4*

サン・シール・シュル・メール(Saint-Cyr-Sur-

Mer)にあるリゾートホテル。バンドルのブドウ畑と地中海の景色を眺めることのできる、ヨーロッパで最も美しい18ホールのゴルフ場のひとつを備えています。

www.dolce-fregate-hotel.fr

・ホテル・カストレ(5つ星) L'Hôtel du Castellet 5

中世の村近郊からは、AOCバンドルの素晴らしいブドウ畑の光景が眺められ、併設レストラン“モンテ・クリストMonte Cristo”は、ミシュランガイドで二つ星を獲得しています。また近くには伝説、ポール・リカル(Paul Ricard)の自動車サーキット場があります。

www.hotelducastellet.com

・“芸術の島 L'Île des Arts”

保養地、バンドルの向かいにあるベンドール(Bendor)島は、パステス酒で有名なやり手経営者であり、芸術の愛好家でもあったポール・リカールの家族が所有しています。島にはワイン&蒸留酒博物館(Musée des Vins et des Spiritueux)があり、世界中から集めた瓶やラベル、レストランのメニューが展示されています。ホテル・ドゥロ(I'Hôtel Delos)は、この島の主がデザインしました。

www.bendor.com

・プロヴァンス・ワイン・ツアー社

Provence Wine Tours

オーダーメイドのワインに関するエクスカッションはいかがですか？エクス、カシ、バンドルのワイナリーやブドウ畑を訪れたり、ワインの造り手に直接会って銘柄ワインを試飲したり・・・プログラムの一部だけでも、全部一度にでも、お好きな組み合わせでどうぞ。もちろん、おいしいプロヴァンスの特産品(リキュール、カリソン、オリーブオイル、タブナード・・・)もお忘れなく！

www.provencewinetours.com

・バンドル Bandol

昔から良質のワインを造っていますが、1941年に全銘柄(アペラシオン)ワインの中で初めて認定されたのは、偶然ではありませんでした。またここだけのブドウ品種、ムルヴェードル(Mourvèdre)を使って造られるワインとしても希少です。

イチオシ情報

・ル・シャトー・ピバルノン Le Château Pibarnon とドメーヌ・オット Domaines Ott の銘柄ワイン

(有名なオットOttの名前を持つドメーヌは3ヶ所あります。ル・シャトー・ドゥ・セル Le Château de Selle、ル・クロ・ミレイユ Le Clos Mireille、ル・シャトー・ロマサン Le Château Romassan) これらの銘柄ワインは、世界中の有名なレストランで提供されています。

www.pibarnon.com

www.domaines-ott.com

・ル・シャトー・ドゥ・ベルヌ Le Château de Berne

プロヴァンス地方にひるがる石灰質の乾燥地帯、ガリーグとブドウ畑、オリーブ畑に囲まれたこのシャトー・ホテルは、ルレー・シャトー(Relais & Châteaux)のメンバーで、80haのドメーヌを所有する内陸プロヴァンスのヴァロワ(varois)地域に位置します。コート・ドゥ・プロヴァンスを始めとする様々なワイン講座も行っています。

www.chateauberne.com

・ル・シャトー・サン・マルタン Le Château Saint-Martin

1740年より同じ家族が経営するドメーヌ。ブドウ畑とともに本物のワイン造りを探求し、海岸から30kmの場所にあるタラドー(Taradeau)にはペンションもあります。

www.chateaudesaintmartin.com

・ル・シャトー・サント・ロズリーヌ Le Château Sainte Roseline

かつての修道院が現在のはすばらしい歴史的建造物に指定され、附属の礼拝堂にはマルク・シャガールによるモザイク画の装飾、有名な銘柄ワイン、そしてシャトー・デ・ドゥモワゼル(Château des Demoiselles)はペンションとなっています。緑に覆われた300haの広大な敷地と200haの森が広がり、内陸プロヴァンスのヴァロワ地域にあるこのシャトーは、サントロベとカンヌのクロワゼット大通りから約30分です。

www.sainte-roseline.com/demoiselles

・ラ・メゾン・デ・ヴァン・デ・コート・ドゥ・プロヴァンス La Maison des Vins des Côtes de Provence

アーク・シュル・アルジャン(Arcs-sur-Argens)にあり、コート・ドゥ・プロヴァンスを生産する複数の造り手のワインを販売しています。ワイナリーではソムリエのアドバイスを受けられ、800種類もの銘柄ワインの品揃えで、造り手からの出荷価格と同じ値段で購入できます。ワイン醸造センター(Centre d'Oenologie)ではワイン講座を開催しており、郷土料理を味わうこともできます。

www.caveaucp.fr

詳しくはこちらどうぞ。

-家族経営の小さなブドウ畑から、壮大な風景が広がる歴史的建築物に指定されたお城、それぞれに個性を持ったペンションと100年以上続く協同組合、ブドウの収穫などの詳しい情報は以下のサイトからどうぞ。

コート・ドゥ・プロヴァンス Côtes de Provence

routedesvinsdeprovence.com

コート・デュ・ローヌ、ローヌ渓谷の道々
chemins de la Vallée du Rhône
vins-rhone.com

見渡す限りのラベンダー



“ラベンダーはプロヴァンスの魂である。” ジャン・ジオノ(Jean Giono)は、この香り豊かな紫色の花をこう表現しています。ラベンダーはプロヴァンス内陸部の象徴となったのです。

6月から9月にかけて、内陸部は多彩な色のオンパレードです。

ラベンダーは、ソー(Sault)高原からアルプス山脈の支脈を流れるビュエック(Buech)川周辺の地域にかけて見ることができます。

ラベンダーを求めて移り変わる風景を辿ってゆくこと、それはまさにプロヴァンス地方の周遊そのものなのです！

プロヴァンスの中でも有名なラベンダーの栽培地、ソーの地域では、一面紫色に染まった広大なラベンダー畑が、中世に築かれた家々やルネサンス様式の優雅な邸宅が建ち並ぶ小さな村の周囲に広がります。毎年8月14日と15日に開かれるラベンダー祭りでは、村中がラベンダーの色と芳香に包まれます。

ソーからアプト(Apt)へ下ってゆく途中には、オークル(黄土)で有名なルシヨン(Roussillon)の村がありますよ！

アプトとその地域は、とりわけ自然の豊かさでエリキシル(élixir)という薬用酒が有名です。ラベンダーは石灰岩質の大地一帯に紫色の花を咲かせます。サント・アンヌ聖堂(cathédrale Sainte-Anne)、そして毎週土曜日に開かれる朝市は、この地方の中でも規模が大きく、典型的なプロヴァンスのマルシェと言えるでしょう。アプトの特産、果物を丸ごと砂糖漬けにしたフリユイ・コンフィの試食もお忘れなく！

ヴォークリューズ県を後にして、今度はアルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス県へ行ってみましょう。ここは20世紀のフランスの作家、ジャン・ジオノの故郷です。フォルカルキエ(Forcalquier)とその地域は、かつてのプロヴァンス伯爵領の中心地で、周囲には石造りの家並みの村々と広大なラベンダーの畑が広がります。フォルカルキエの郊外にある見事なロマネスク建築のガナゴビー修道院(prieuré de Ganagobie)。フォルカルキエは城塞の街、プロヴァンスの香りと味わいが楽しめます。そこから数キロのところにある、シミアヌ・ラ・ロトンド(Simiane-la-Rotonde)は、そのすばらしい建築遺産と美しい風景から“個性ある町(cité de caractère)”に数えられています。19世紀にはラベンダー栽培の中心であったこの村には、ラベンダー畑を見守るように主塔がそびえています。

デュランス川とヴェルドン川にはさまれたヴァランソル(Valensole)高原は、水の豊かな地域です。ラベンダーの一種、ラバンダン(lavandin)と小麦の栽培がさかんでアーモンドの生産も多く、ラベンダーの蜂蜜は有名です。ムスティエ・サント・マリー(Moustiers-Sainte-Marie)は陶器作りが盛んな村。さらに北、ディーニュ(Digne)の地域へ行ってみましょう。

ディーニュ・レ・バン(Digne-les-Bains)は、アルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス県の中心都市。毎年8月第1週末には「*コルソ・ドゥ・ラ・ラヴァンド* Corso de la lavande」と呼ばれるラベンダー祭りが開かれ、ラベンダーで飾られた山車のパレードがあります。またここは、昔から温泉保養地として人気があります。

最後は、ビュエック川が流れるアルプス山脈の地域でラベンダーを巡る旅を締めくくりましょう。急流や山岳高地、そして緑豊かな高原が広がるこの大地にこそ、上質なラベンダーが栽培されているのです。

おすすめショッピング

- ロクシタン l'Occitane

ラベンダーはもちろんのこと、プロヴァンスの恵みを受けた香り豊かな植物をベースとした様々な美容品は、ロクシタンでどうぞ！またロクシタンでは、マノスク(Manosque)にある工場と美術館のガイド付き見学を無料でを行っています。

www.loccitane.com

- アプトのフリユイ・コンフィ fruits confits

アプトの名物、フリユイ・コンフィ(果物の砂糖漬け)をお試し下さい！

手帳にチェック！

ラベンダーの開花時期は6月半ば～7月半ばです。どうぞお見逃しのないように！

またラベンダーに関する様々な情報(収穫、伝統的な蒸留方法、エッセンシャル・オイル、調香のアトリエ、庭園、香りの道、博物館など)については、ラベンダー街道を紹介したこちらのサイトからどうぞ。

www.routes-lavande.com



おすすめのホテル&レストラン

思い出に残る旅行と滞在には、宿泊先選びが欠かせません。「**ラベンダー街道 Routes de la lavande**」の認定を受けた宿泊施設は、質の高いおもてなしとサービスを提供し、ラベンダーやその地域を知り尽くしています。
www.routes-lavande.com

- ロクシタン経営のル・ク・ヴァン・デ・ミニム・ホテル&スパ(5つ星) Le Couvent des Minimes Hôtel & Spa 5* by L'Occitane

香り豊かな植物が咲き誇る5haの庭に建つ、かつての小さな修道院を改装したロクシタン経営のホテル。プロヴァンス地方の中心に、ラベンダーと現地の植物を使用したSPAを併設し、庭で採れた野菜やスパイスを使った本格料理を味わえるガストロノミー・レストラン、ル・クロワートルLe Cloîtreへどうぞ。
www.couventdesminimes-hotelspa.com

- オステルリー・デュ・ヴァル・ドゥ・ソー(3つ星) L'Hostellerie du Val de Sault 3*

感じの良いホテル。ロマンティックなハイキングや本格的なサイクリングに最適。
www.valdesault.com

- ホテル・シャランボー(3つ星) L'Hôtel Charembau 3*

7haの草原と丘がつらなる18世紀の農園の中に建てられた快適なホテル。
www.charembau.com

- ラ・ヴィラ・ボルゲーゼ(3つ星) La Villa Borghese 3*

温泉保養地、グレウー・レ・バン(Gréoux les Bains)にあるチャームなホテル&レストラン。リュベロン国立公園とヴェルドン渓谷地方公園のふもとにあります。
www.villa-borghese.com

- シャンブル・ドット・デュ・ドメーヌ・デュ・ブチ・ラブレ La Chambre d'hôtes du domaine du petit Labouret

オーク、松、栗の大木、そしてもちろんラベンダー畑に囲まれたプロヴァンスの内陸にある知る人ぞ知るペンション。
www.petit-labouret.com

- ムーラン・ブラン Moulin Brun

家族経営でアットホームなサービスを受けられるジット(Gîtes貸し別荘)、ペンションとレストラン。
www.lureluberan.com

おすすめの見どころ

- ラ・ディスティルリー・レ・ザネル La Distillerie Les Agnells

リュベロン地方自然公園の中心地、アプトとブウ(Buoux)村の間にあり、ラベンダー街道周遊の宿泊先として理想的な場所にあります。ラベンダー蒸留所のガイド付き見学。無料。天然エッセンシャル・オイル、くつろぎのスペース、ラベンダーの香りに包まれたプール。。。ラベンダーづくしの場所でくつろぎの時間をどうぞ！
www.lesagnells.com

- ラ・ディスティルリー・デュ・ヴァロン・デ・ラヴァンド La Distillerie du Vallon des Lavandes

ソーにあるラベンダー蒸留所。伝統的なラベンダーの蒸留方法のガイド付き見学。無料。
www.saultenprovence.com/en/region-and-gastronomy/gaec-vallon-des-lavandes-distillery/

- ル・ラボラトワール・サント・ヴィクトワール Le Laboratoire Sainte-Victoire

シミアヌ・ラ・ロトンドのお城では、アロマテラピー入門講座が開催され、天然化粧品と天然エッセンシャル・オイル製造のアトリエがあります。
www.laboratoiresainte-victoire.com

- サラゴン博物館 Le Musée de Salagon

マヌ(Mane)にあり、実際に庭園を訪れながら様々な芳香性植物について、収穫から蒸留にいたる過程などを分かりやすく解説します。
www.musee-de-salagon.com

- ラベンダー博物館 Le Musée de la lavande

クストレ(Coustellet)にあり、ラベンダー蒸留器を集めた珍しいコレクションとラベンダーに関する資料を展示しています。
www.museedelalavande.com

- レ・ラヴァンド・アンジェルヴァン Les Lavandes Angelvin

ヴァランソールのラベンダー生産者たちによる蒸留所見学。
lavandesangelvin.site.voila.fr

- アルジャンのブルー・ロード Les chemins bleus d'Argens

ミュール・アルジャン(Mure-Argens)では、上質(AOC)ラベンダーからエッセンシャル・オイルを作っています。
www.bleudargens.fr

詳しくはこちらからどうぞ。

www.routedelalavande.com

写真はここからどうぞ。

<https://www.flickr.com/photos/photogta/sets/72157629568695092/>



ヴァントウー山～リュベロン、ピュアなプロヴァンス



“山塊、すなわち積み重なった岩の斜面はととても険しく、そこに近づくことはほぼ不可能だ。しかし詩人が言ったように努力を重ねてそれを乗り越えた時には、全ての苦勞が報われるのだ。”
ペトラルカ(Pétrarque)はこう語りました。

イタリアの詩人、ペトラルカは1336年にヴァントゥー山(Mont Ventoux)登頂についてこう書いています。
ツール・ド・フランスが始まる何百年も前から、この山は伝説的な存在だったのです!

プロヴァンスの最高峰、ヴァントゥー山は標高1909m。山頂からはプロヴァンス地方の大パノラマ、ローヌ渓谷からモン・ブランまでを見渡す壮大な眺めを一望できます。ごつごつした石に覆われた山の頂上はまるで月面のように、どこからでも目に飛び込んできます。

2013年7月14日のフランス革命記念日には、ツール・ド・フランス100回大会のコースとなっているヴァントゥー山への登山をどうぞお忘れなく!

山の斜面から南に向かって下ってゆくと地中海性気候の植生、ソー高原に広がるラベンダー畑、見事なリュベロン渓谷が現われます。

真のプロヴァンス、そしてやすらぎを求めて、数多くの芸術家が世界中からやって来ますが、プロヴァンスが国際的に有名となったきっかけは、ピーター・メイルが書いた「プロヴァンスの12ヶ月Une année en Provence」という本でした。

リュベロンの峡谷とその地形からは、多彩で感動的な景色が作りだされています。

- ルシヨンとオークル Roussillon et ses ocres

この村は広い空の下、赤い色の家々が周囲にオークル(黄土)採掘場の広がる丘に建てられています。色々なニュアンスの黄色〜赤色に彩られた建物の外壁を見ながら村を歩いてゆくと、村の入り口にはオークルでできた小さな山ターヴァル・デ・フェー(Val des Féés)の見事な景観が現われます。「プロヴァンスのコロラドColorado provençal」と呼ばれるオークルの迫力ある様々な地形を見れば、地中海地域の家々に使われたこの黄土について、より知識を深めることができます。

- ゴルド Gordes

“フランスの最も美しい村々”のひとつに認定されたこの村は、太陽の光を受けて金色に輝く岩の上に家々が張り付いています。数百年もの歴史ある建物がセンス良く修復された通りを行った先には、ルネサンス期のお城があり、このお城の中には、六角形に彫刻が施されたものとしてはフランスで最大級の暖炉のひとつがあります。村のカフェ・バー、“セルクル・レピュブリカン cercle républicain”でワインを味わいながら一休みしたら、ボリー(Bories)の村を訪れてください。ボリーとは平たい石を円錐形に積み上げた石造りの小屋で、この建築法は紀元前何世紀も昔のもの、とされているのです! 曲がりくねった道を進みセナンク修道院(Abbaye de Sénanque)へ。小さな谷にたたずむシトー会がこの修道院に身を置くと、そのすばらしさに魅了されます! しばし静寂さと澄みきった美しさに浸りましょう。

- メネルブ Ménerbes

「遠くから見るとまるで軍艦のように見える岩山の上に連なる村」、メネルブ。プロヴァンス生まれのノストラダムスは、この村が「フランスの最も美しい村々」に認定されることを当時すでに予測していたのです! ピーター・メイルや、1945年にはピカソが当時彼の愛人で、多くの影響を受けたドラ・マール(Dora Maar)のメネルブ滞在からもわかるように、たくさんの芸術家や小説家がこの村に魅かれて住んだのも当然の成り行きといえるでしょう。村の魅力を十分に堪能したあとは、17世紀の施療院を改装してオープンした、トリュフ&ワイン博物館(Maison de la Truffe et du Vin)を訪れてください。リュベロンのワインと高級トリュフを是非お試しあれ!

www.vin-truffe-luberon.com

またブドウ畑が広がる村の城塞にある、栓抜き博物館(musée du Tire-Bouchon)を訪れるのもおもしろいでしょう。

www.domaine-citadelle.com

- ヴェゾン・ラ・ロメヌ Vaison-la-Romaine

さらに北へ進んだプロヴァンスのこの村は、「フランスで最も回り道をして訪れる価値のある町 plus beaux détours de France」のひとつに認定され、フランス国内で最大の、考古学上重要な遺跡の数々があります。2000年前にさかのぼる古代ローマ時代の遺跡、建物、古代劇場に考古学博物館を訪れてみましょう。どれだけの価値があるか計り知れないほどの遺産を見学した後は、中世の街並みを残す地区にも是非、足を運んでみてください。

毎年夏に行われる古代劇場での国際ダンスフェスティバル、ヴェゾン・ダンス Vaison Danses や様々なイベントは、まさに夏の風物詩。これらを楽しむ人々が、その魅力を求めてこの村にやってきます。

リュベロン地方自然公園

Le parc naturel régional du Luberon

ここは自然保護地区で多種多様な動物と植物が生息し、考古学や地質学の自然遺産が最も豊富なことから、ユネスコより「生物圏保護区 Réserve de biosphère」に指定されています。

アプト(Apt)周辺は、世界で最もオークルの豊富な地層の中心です。その様々な色やコントラストの多様性が、ハイキング、サイクリング、ドライブコースで楽しめます。美術館では、造型アートや塗料に用いる自然色素の使い方を学んでみましょう。

カヴァイヨン(Cavaillon)は、19世紀にはすでにメロンの一大産地。フランスの庭として知られていました。現在でもフランス有数の農産物生産高を誇っています。古代ローマ時代にはローマ皇帝ドミティアヌスの遠征中継地として、またアヴィニョンに法王たちが居住した中世には、地域の重要都市となっていました。

おすすめショッピング

- オークル Des ocres

プロヴァンスの空気をいつも感じていたいあなたに。

www.okhra.com

- フリュイ・コンフィ Des fruits confits

リュベロンの中心地、アプトが名産の果物の砂糖漬け。昔ながらの製法で作られたお菓子は、甘い物好きの人にはたまりません！

- リュベロンのワイン Les vins du Luberon

原産地呼称統制ワイン(AOC)は、ローヌ渓谷のブドウ品種で作られます。おいしく、こくのあるワインです。

www.vins-luberon.fr

- リュベロンのトリュフ La truffe du Luberon

黒トリュフは、風味と香り豊かな高級食材キノコ。様々な料理に使われ、特に12月〜2月にかけて地元の小さなマルシェで売られています。

- マチュー照明博物館

Le Musée de la Lustrerie Mathieu à Gargas

アプト郊外、ガルガ(Gargas)にある照明やシャンデリアの見事なコレクションが見られる博物館。ヴェルサイユ宮殿の照明メインテナンスも手がけるこの照明器具製造業者、マチュー氏が設置した展示スペースで、照明器具の華麗な変遷と技術進歩の歴史を学ぶことができます。

www.mathieulustrerie.com

おすすめのホテル&レストラン

- ラ・バスティッド・ドゥ・ゴルド・エ・スパ (5ツ星)

La Bastide de Gordes et Spa 5*

ゴルド村の中心にあり、ホテルからはリュベロンの見事なまでの眺めが楽しめます。16世紀の邸宅を改装したホテルで、魅力あふれる滞在をお楽しみ下さい。

www.bastide-de-gordes.com

- ル・フェビュス・エ・スパ (5ツ星)

Le Phébus et spa 5*

乾燥した石材で建てられたプロヴァンスの別荘で、スイートルームでは、プライベートプールをご利用いただけます。またミシュランガイドで一つ星を獲得したシェフによる洗練された、味わいのある料理をご堪能ください。

www.lephebus.com

- ホテル・ドゥ・クリヨン・ル・ブラーヴ (5ツ星)

Hôtel de Crillon le Brave 5*

ブドウ畑とオリーブの木々に囲まれた村の頂上に位置し、ホテルの歴史は16世紀から17世紀にさかのぼります。ヴァントゥー山のすばらしい眺めをご堪能下さい。

www.crillonlebrave.com

- ラ・コキヤード (5ツ星) La Coquillade 5*

プロヴァンスでワイン・ツーリズムを積極的に取り入れているホテル。レストランはミシュランガイドで一つ星を獲得、シェフのクリストフ・ルノChristophe Renaudは、様々な地中海の味わいのある、創造性に富んだ料理を提供しています。

www.coquillade.fr

- ル・マ・デ・ゼルブ・ブランシュ (5ツ星)

Le Mas des Herbes Blanches 5*

乾燥した石を積み上げて作られた壁と、南仏の太陽の光に照らされた古い屋根瓦のプロヴァンス独特の建物に、リュベロンの様々な色彩が加わり独特の雰囲気をかもし出しています。また併設のレストラン、グルメ・マ・デ・ゼルブ・ブランシュGourmet Mas des Herbes Blanchesでのお食事もお楽しみ下さい。

www.herbesblanches.com

- ル・ドメヌ・デ・ザンドウオル (5ツ星)

Le Domaine des Andéols 5

敷地内に複数あるプロヴァンスの魅力あふれる高級貸し別荘で、各室内は非常にモダンなつくりとなっています。

www.domaine-des-andeols.com

- ル・シャトー・ドゥ・マザン (4ツ星)

Le Château de Mazan 4*

18世紀に建てられた優雅なお城は、あのサド侯爵がかつて住んだ場所。ヴァントゥー山のふもとにひっそり佇み、侯爵を偲んで、“ランジェニユL'ingénue”と名づけられたレストランでは、高級フレンチを堪能できます。

www.chateaudemazan.com

- ル・マ・デ・グレ (3ツ星) Le Mas des Grès 3*

田舎の小さなレストランを兼ね備えたホテル&ペンションで、大変魅力にあふれた宿泊施設です。プロヴァンス伝統建築様式の建物を、この地をこよなく愛するオーナーのセンスで改築。プロヴァンスを訪れるカップル、ご家族すべてのみなさまの夢や希望をかなえるべく、料理教室、サイクリング、ワイン講座、ゴルフをはじめとするオーダーメイドのプログラムをご提案しています。

www.masdesgres.com

- ホテル・ブリュス L'Hôtel Burrhus

ヴェゾン・ラ・ロメーヌの中心地にあり、プラタナスの木々の下には素晴らしいテラスを兼ね備えた、プロヴァンスの魅力あふれるブティック・ホテル。

www.burrhus.com

旅のオリジナルアイデア

プロヴァンスのハイキング、サイクリング、ツーリング、スポーツカーや高級車での周遊…皆さまのお好みに応じてお選び下さい！プログラムのオーダーメイドや宿泊施設のカテゴリ、ワインの試飲、食事、そして現地の人々との出会いをプロヴァンスでどうぞ！

- フランス・オン・ホイール社 France on Wheels

オートバイやスポーツカー、又は高級車でプロヴァンスを周る、ラグジュアリーな旅を手がけています。

www.france-on-wheels.com

- ウォーク・イン・プロヴァンス社

L'agence Walk inn Provence

プロヴァンス独特の宿泊施設に滞在し、この地方のハイキングとサイクリングを専門に手がけています。

www.walkinnprovence.com

- ヴェロ・ロワジュール・リュベロン

Vélo Loisir Luberon

サイクリングとリュベロンをこよなく愛する人々のための専門団体。

www.veloloisirluberon.com

詳しくはこちらどうぞ。

www.prestigetourismepaca.fr

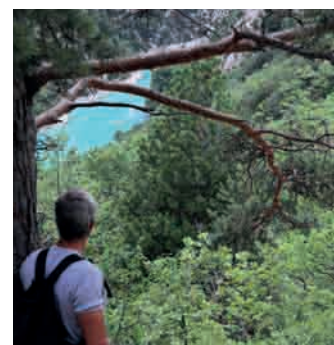
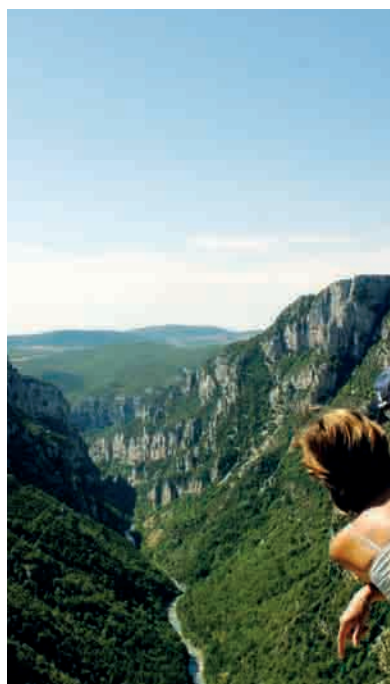
www.tourismepaca.fr

www.provenceguide.com

www.cavaillon-luberon.com

www.vaison-la-romaine.com

ヴェルドン溪谷、景色と感動



“この切り立った岩の連なりと深い谷、真っ青な水面、赤紫色の陰、一面の海原と空、亡き神々の声でささやく風・・・このすべてのハーモニーほど幻想的なものはない。”
ジオノは壮大な風景の中で、このプロヴァンスのキャニオン(峡谷)をこう表現しました。

ヴァール県とアルプ・ドゥ・オート・プロヴァンス県の境にある壮大なこの断層は、コロラドに比べると17分の1に過ぎませんが、ヨーロッパで最大の峡谷のひとつに数えられています。

ヴェルドン地方自然公園に広がるエメラルドグリーンの自然の驚異。この光景はまるで幻想の世界です！このまれにみる絶景には美しい自然環境がそのまま残っており、1500種以上もの植物と、フランスのほぼ全ての猛禽類が生息していると言われています。

こうした類を見ない壮大な自然と豊かな環境へ今日、私達が訪れることが可能になったのは1905年、エドワール・アルフレッド・マルテル(Edouard Alfred Martel)によって、このグランドキャニオンが開拓されたからでした。ラ・パリュエ(La Palud)という小さな村を発点とするヴェルドン峡谷の最も美しいハイキングコースのひとつには、彼に敬意を表して“マルテル道”という名前がつけられています。

ハイキングでは、見事な景観をいたるところで楽しむことができます。切り立った岩山が覆いかぶさるふもとと小さな村々には、ムスティエ・サント・マリー(Moustiers-Sainte-Marie)のように多かれ少なかれ、その名前が良く知られているところもあります。

プロヴァンス地方とアルプス山系の接点となっているこの地域では、ヴェルドン、ガルト(Galets)といった有名な峡谷が次々と目の前に広がり、サント・クロワ湖(lac de Sainte-Croix)の最も西側はあまり知られていませんが、ヴァランソール高原(plateau de Valensole)にラベンダー畑が広がります。

ヴァランソール高原と周辺の山々に囲まれた、トルコ石色の水をたたえるこの湖を目の前にすると、心が洗われるような幸せを感じることができるでしょう。本当に、自然はプロヴァンス地方にすばらしい贈り物を授けてくれました。

さらに南へ下って行くと、カンソン(Quinson)には先史美術館(musée de la préhistoire)があり、ここから少し先のエスパロン・シュル・ヴェルドン(Esparron-sur-Verdon)付近の洞窟で半世紀前より進められている発掘作業から持ち出された品々の展示物から、この地方の歴史を学ぶことができます。

この南に広がる峡谷から、より緩やかな地形のプロヴァンスの低地となり、石灰岩の乾燥地帯が広がるガリーグにも増して無味乾燥な、地中海沿岸独特の雰囲気漂います。

まだまだ、プロヴァンス地方は続きますよ！

おすすめショッピング

ムスティエ・サント・マリーの村 village de Moustiers- Sainte-Marie

陶器作りがさかんなこの村では、ムスティエ陶器を販売する小さなお店が軒を連ねます。昔ながらの製法でつくられるムスティエ焼きの魅力を発見してください。

www.moustiers.eu

手帳にチェック!

ヴェルドン渓谷のふもとに点在する小さな村々では、夏にはマルシェが華を添えます。プロヴァンスの名産、特産品、カラフルなプロヴァンス生地がならぶこの地方独特のマルシェへ、是非お越し下さい！

おすすめのホテル&レストラン

ヴェルドンの自然に抱かれたこの地域では、魅力的なゲストハウスがたくさんあります。皆さまの滞在が心に残るものとなるよう、特におすすめの宿泊施設をご紹介します。

- ラ・バステード・ドゥ・ムスティエ (4ツ星) la Bastide de Moustiers 4*

かつては陶器職人が所有していた17世紀の邸宅。ミシュランガイドで複数の星を獲得しているアラン・デュカスが経営する魅力あふれるこのゲストハウスは、グルメの人にははずせません！

www.bastide-moustiers.com

- ラ・フェルム・ローズ (3ツ星) La Ferme Rose 3*

大自然の中にあり、ホテルのオーナーが所有する1930年代&50年代の調度品を展示している、とても個性的なホテル。

www.lafermerose.com

- ホテル・デュ・グラン・キャニオン (2ツ星) L'hôtel du Grand Canyon 2*

ヴェルドン峡谷の地上300m、切り立った崖の上を走る道路、美しいコルニッシュ上に建てられたホテル。見に行くだけでも価値がありますよ！

www.hotel-canyon-verdon.com

- シャンブル・ドット、サン・ヴァンサン・ドゥ・ポール chambre d'hôtes Saint-Vincent-de-Paul

村、アノ (Annot) にある16世紀の邸宅を改装したペンション。2000年の時の流れを感じてください。

www.annot-histoire.com

- ル・モナステール・ドゥ・セグリエ Le Monastère de Segriès

ムスティエ・サント・マリーから数キロの場所にある、かつてのシトー会の修道院を改装したペンション。

www.monastere-de-segries.com

- ル・シャトー・デスパロン Le Château d'Esparron

歴史的建築物に指定されたプロヴァンスの古い家を改築してできたペンション。ヴェルドン渓谷自然公園の中心にあるこのペンションからは、時期によって見渡す限りのラベンダー畑と、アルプス山脈の頂に積もった雪の素晴らしい景色が堪能できます。

www.chateau-esparron.com

おすすめのアクティビティ&見どころ

ヴェルドン峡谷では、様々な方法でその魅力を発見できます。

皆さまの旅のプログラムに応じてお選び下さい。

- スリルを味わいたい人には・・・

カヌー&カヤック、ラフティング(いかだによる川下り)、キャニオニング(急流下り)、洞窟探検など。

<http://cnev.online.fr/>

- ガイド付きハイキングについては・・・

www.guidesaventure.com

- 山頂を巡る道 route des Crêtes

岩山の頂を巡るドライブはいかがですか？ドライブコースとしてはあまり知られてない道ですが、急斜面の絶景やすばらしいビューポイントから、最も美しい景色と手付かずの自然を一望できます。

www.lapaludsurverdon.com

- “ラ・メゾン・デ・ゴルジュ・デュ・ヴェルドン La maison des gorges du Verdon”

ヴェルドン峡谷の魅力を様々な観点から紹介する博物館と、多彩なアクティビティ&プログラムをご用意しています

www.lapaludsurverdon.com

- 絶対にはずせない見どころ

ステュクス・デュ・ヴェルドン le Styx du Verdon

ギリシャ神話の冥界を七巻きして流れる川、ステュクス (Styx) から命名され、ヴェルドン峡谷の中でも小さな渓谷をさします。ヴェルドンがほとんど地下へと断層により沈み込んだ場所は、何百万年にもわたって侵食作用が続いた跡がしっかり見て取れます。泳いで渡ることもできますよ！